

# 刑事事実認定 重要判決50選

〔第4版〕

植村 立郎 監修

遠藤 邦彦 編集  
安東 章



立花書房

## 第4版 はしがき

植村立郎先生は令和8年6月に傘寿をお迎えになる。本書第4版は植村先生の傘寿を記念して発刊されるものであり、心よりお祝いを申し上げる。

本書第4版については、後進に編者を譲りたいとのお話が植村先生からあり、我々2名が編集に当たった。改めて紹介するまでもなく、植村先生は、裁判官、弁護士として刑事裁判実務において多大な活躍をされるとともに、研究者として多数の非常に優れた著作、論稿を公表され、また、数多くの後進に対する指導に熱心に取り組んでこられた（本書の執筆者の中にも、先生から懇切丁寧なご指導を賜った裁判官は少なくない。）。植村先生が発刊時から編者を務めてこられた本書の編集は、我々にとって身に余る重責というほかないが、他ならぬ植村先生のご指示であり、先生自らが監修いただけるとのことでもあったことから、お引き受けすることとしたものである。発刊以来の本書の読者の皆様にはご理解を賜りたい。

さて、本書は、平成17年の発刊以来、裁判実務家が刑事裁判例を題材として事実認定を研究した文献として、刑事裁判に携わる法曹を中心に多くの読者の支持を集めてきた。第4版においても、本書の基本的な性格に変わりはしない。

ただ、編者交替の機会に、第4版においては、第3版以降の実務、立法の動き等を踏まえて項目や対象判例を全般的に見直すこととし、窃盗症、司法面接、取調べ録音録画、控訴審、保釈、再審などに関する8項目を新規に設けるとともに、性犯罪、特殊詐欺、正当防衛など17項目の対象判例を新しいものにアップデートする一方で、項目の総数を現在の裁判実務上重要で汎用性のある62項目（後記3論稿を除く。）に絞るとともに、各論稿の分量についても上限を設けた。そして、刑事第一審の裁判長等として現に活躍中の多くの裁判官を新たな執筆者として迎えるなどした上で、41項目について、新たに論稿を書き下ろしていただいた。

また、第4版においては、平成21年以降の裁判員裁判の蓄積を踏まえ、一般国民が判断権者に加わったことによって事実認定やあてはめにいかなる変化が生じているか、裁判官、検察官及び弁護人にどのような役割が求められ

ているか等、裁判員裁判の実践から得られた知見を意識した考察をも各執筆者に依頼した。さらに、刑事裁判における争点の設定や攻防・判断は法曹三者による協働作業であるという裁判員裁判の実践の中で体感された知見を踏まえ、新たな試みとして、入江淳子検事及び宮村啓太弁護士に、それぞれの立場で裁判官の事実認定にどのようなことを求めるかという観点から執筆を依頼するとともに、両氏の執筆内容に裁判官の立場から応答する論稿を編者（遠藤）が執筆した。

以上の見直しや試みが奏功しているかについては読者の皆様のご判断を仰ぐほかないが、本書第4版が、従前の本書と同様、刑事裁判に携わる法曹を中心とする読者にとって実用的で汎用性のある文献となっていることを願ってやまない。

最後に、公務多忙にもかかわらず充実した内容の論稿を寄せていただいた執筆者の方々に感謝したい。また、編者の交替及び執筆者の大幅入れ替えもあって、立花書房の馬場野武部長及び中埜誠也係長には大変なお手数をおかけした。そのご尽力に改めて謝意を表する。

令和7年12月

遠藤 邦彦  
安 東 章

### 第3版 はしがき

1 本書は、出版元である立花書房の創立60周年記念出版物の1つとして平成17年に発刊され、ほぼ15年の年月を経て今回第3版の発刊を迎えることになった。出版不況という言葉もある中で、順調な推移といえよう。これもひとえに読者の広範で熱心な支持の証であって、私自身、本書について好評価を賜ることがあるのも、そういった御支持の反映といえよう。誠に有り難いことである。

ここで、第3版発刊に当たり、読者に、まず、御報告しておきたい。それは、本書発刊の契機を作られ、これまで筆頭編者としての重責を果たしてこられた小林充先生が、大変残念なことであるが、平成25年に御逝去なされたことである。先生を本書の編者から失ったことは、筆舌に尽くし難い痛恨事である。

しかし、上記のとおり、本書は読者の支持を賜っているところから、第3版の発刊の気運が高まり、出版元とも相談の上、植村が単独の編者として第3版を発刊することとなったのである。

本書の読者の中には、小林先生を尊敬・敬慕していらっしゃる方も多いことと推察されるが、こういった編者の変更を読者におかれては、御理解賜りたい。

2 第3版発刊に当たっては、編者は一人となってしまったものの、本書に対する読者の期待に添うよう、基本的にはこれまでの内容を維持しつつも、新規の項目を追加し(23項目)、対象判例を変更したり、執筆者を新しくしたり(合計19項目)して、本書がアップトゥデートな内容であり続けるよう、心掛けたところである。

特に、取り扱う項目が合計84項目となり、全体の分量も増えて、「50選」というより「100選」に近付いているのは、事実認定関連の実務の充実振りを窺わせるものといえよう。

3 本書と事実認定との関係については、本書のこれまでの「はしがき」においても度々言及しているが、ここでは、実務家による「事実認定に関する論考」の在り方について、編者としての私の考えを述べておきたい。

事実認定は証拠から事実を認定することである、とだけ言ってしまうと、そこには法解釈が介在する余地はないような印象を受ける。ところが、実際は、事実認定と法解釈とは密接不可分な関係にあって、例えば、事実認定の対象は実体法の法解釈を前提として初めて明らかになることが少なくないのである。特に、実務例の蓄積が乏しい分野に関する事実認定においては、まずは、実体法に関する法解釈を試みないことには、何を論点として、どういった事実を認定したら良いのかの手掛かりすら得られないことが少なくない。

また、事実認定に関する説明というと、実際に書いてみると直ぐに分かることであるが、具体的な個々の裁判例で現に行われている、当該事案に即した個別性の強い事実認定を対象として、事実認定に関する視点・手法としての汎用性の高い説明に結実させるためには、適切な抽象化が不可欠であるところ、その作業は必ずしも容易ではなく、まさに実務家としての蓄積が反映してこざるを得ない側面が多いのである。

こういったことが背景にあって、実務家による「事実認定に関する論考」であっても、「事実認定に関する論考」（例えば、「◎◎罪の故意の認定について」といったタイトルの論考）でありながら、その実質は法解釈の説明に終始している（少なくとも、この点に重点が置かれている）、といった論考も少なくないのである。

しかし、私は、「事実認定に関する論考」という以上は、少なくとも、一定程度の実務例のある分野に関してはやはり、「事実認定」に軸足を置いて、そういった事実認定の説明の前提が明らかになるように、必要な範囲の法解釈の説明を行うといったスタイルが、実務家による「事実認定に関する論考」の望ましい姿であって、また、そういった論考はまさに実務家ならではのものといえるから、多くの読者の参考に資する面も多いように考えている。

本書の執筆者に対しても、執筆に当たって、こういったお願いをしてきているところである。しかし、「言うは易く行ふは難し」であって、私自身の論考も含めて、今後もこういった望ましい姿の論考を多数含む形で本書が発刊され、今後も続いていくように、引き続き心掛けていきたいと考えている。

なお、本書が上記のとおり発刊を続けていることについては、立花書房出版部の御尽力に負うところが大きいのであって、今回も、前版に引き続き、馬場野武次長をはじめとして、本山進也参与、秋山寛和係長、中埜誠也係長、山本昌利氏には、大変お世話になった。ここに記して謝意を表する。

令和元年11月

植村 立郎

## 第2版 はしがき

本書は、平成17年11月に初版が、平成19年4月に補訂版が、それぞれ刊行されているから、今回、第2版の発刊の運びとなったのは、誠に順調な推移といえる。本書が多くの読者の支持を得ている証<sup>あかし</sup>といえ、大変有り難いことだと思っている。事実認定を、理論の面からだけでなく、具体的な事件において日々実践されている、その実務的な視点から検討していく重要性は今後とも高まっていくと思われるが、本書は初版の時から保持していた上記の視点を引き続き堅持している。

他方、司法改革の時代と言われる中で、法制度も、判例、実務にも大きな変化が続いているから、時代の流れに即応する必要が一層高まっており、この度、第2版を企画することにした。

本書第2版においては、基本的にはこれまでの内容を維持しつつも、新規の項目を追加したり（8項目）、対象判例を変更したり、執筆者を新たにしたり（合計15項目）などしており、「第2版」と称するのにふさわしい内容となっていると自負している。

付言すれば、実務的な論考の近時における大きな傾向として、裁判員裁判が実施されたことから、従前の議論や判例を見直したり、新たな工夫例を紹介するなど、裁判員裁判との関連で様々に論ずる部分が増えていることが挙げられる。本書でも、このような近時の傾向が的確に反映されているから、読者は、裁判員裁判実施後の事実認定における実務的な新鮮で有益な視点を本書の様々な箇所を得ることができよう。

本書のこの新たな歩みが読者の広い支持を得て、実務はもとより学会へも大きく寄与できることになることを願っている。

なお、前版に引き続き立花書房出版部の安部義彦部長、馬場野武課長にはお世話になった。記して謝意を表する。

平成25年9月

小林 充  
植村 立郎

## 補訂版 はしがき

幸いにも読者の支持を得て版を重ねることができ、第3刷を迎えることとなった。そこで、裁判例、学説を補充して、補訂版を出すこととした。

なお、読者の要望もあり、取り上げる項目を増やすなどの本格的な改訂も、今後の課題としたいと考えているが、今回は、部分的な補訂にとどまっているものである。

なお、前版に引き続き、立花書房の安部義彦主幹にはお世話になった。記し謝意を表する。

平成19年3月

小林 充  
植村 立郎



## は し が き

1 刑事事件における事実認定については、かねてから関係者の間にその重要性が強調されてきたところであるが、最近では、法学教育、特に法科大学院教育においても多くの関心が払われるようになった。また、裁判員制度の施行を数年後に控え、一般国民に対してもこれに関心をもってもらふことの必要性を説く声も高まっている。

本書は、このような時期において、刑事事件の分野における最高裁判所及び下級裁判所の判決を素材として、刑法総則及び主要個別犯罪の事実認定上の重要な問題とともに、犯罪全体を通ずる総合的な事実認定法則をできるだけ分かりやすく解説することを目的として、編集されたものである。

2 事実認定は、裁判の専門家や素人を問わず広範に行われている日常性、普遍性をもっている。そういった面は、裁判員が刑事裁判の事実認定にも加わることとなった基盤にあることであり、また、事実認定に関する法学教育の基礎にあることでもある。

同時に、刑事裁判における事実認定は、定められたルールに則って行われる技術的、専門的な面の占める割合の高いものである。そのことが刑事裁判の事実認定の際立った特徴ともなっている。そして、このような特性は、裁判員や法学教育を受ける者はもとより、自ら、ときには裁判員と協働して事実認定を行う裁判官にとっても、短期間で簡単に修得できるとは必ずしもいえないものである。

そして、この刑事裁判における事実認定の技術的、専門的な面について無視できないのは、明治時代以降先輩裁判官達の長年にわたる努力と研さんによって形成された事実認定に関する法則であり、そのことを直接知る手掛かりとなるのは、これまでに集積された事実認定に関する豊富な判決であるといえる。各分野にわたるその全体を素材とすることによって、はじめて事実認定に関する裁判法則を明らかにし得るものと考えられる。これを知ること、裁判官はもとより、裁判を求める立場にある検察官、弁護士、法曹を目指す法科大学院学生、司法修習生、広い意味で司法の運営に携わる警察官等、さらには法学研究者やその教えを受ける法学部学生にとっても必要かつ

有益なことといえよう。本書の読者としては、このような多くの層を予定している。

3 不易流行という言葉があるが、事実認定も、長年の風雪を経ても変わらないものをその根幹としつつも、時代の変化、社会の要請に対応し進展する面をもつところもある。例えば、本書で対象とした判決は、故意犯の事案が大半を占めているが、故意という事柄を事実認定の観点から見ると、被告人の内心に、まさに事実としてのそれがあるかないかを認定するのが、その基本形といえる。しかし、実務上は、事実としての故意の存否にとどまらず、外から見て、被告人に故意があるとして良いかといった規範的な観点から、故意を認定すべきではないかといった問題に直面させられることも少なくない。本書のいくつかの論考で、故意についての事実認定に関して、規範的な視点からの言及がされているのも、そういった問題意識の表れといえる。このことは、まさに、現在の実務における事実認定に関する問題状況の進展をうかがわせるものといえよう。

4 本書で取り上げている項目は、事実認定に関する重要な問題を多数網羅しているが、各執筆者には、裁判実務の経験を踏まえ、当該問題に関する判決につき、基本に忠実な形で解説を主要内容としつつ、その背景にある事実認定のもつ前述の二面性、さらには事実認定に関する現在の問題点をも反映するよう求めたところである。本書の読者としては前述したような多くの層を予定しているが、改革の大波の中にある司法に何らかのかたちで関与しているそれらの方々に対し、本書が日々の変化にも即応する道標の1つとしての役割を果たし、様々な形で寄与できることを心から願うものである。

5 ちなみに、本書の出版元である立花書房は、本年創立60周年を迎えたが、本書は、この節目の時期にふさわしいものとして、創立60周年記念出版物の一つに加えられている。その企画の段階から、同社の橋英明社長と安部義彦編集部主幹には種々お世話になったことを記して感謝の意を捧げたい。

平成17年7月

小 林 充  
植村 立郎

## 凡 例

### 【判 例 表 記】

判例の表記は、次のように略す。

最高裁判所判決昭和50年7月1日最高裁判所刑事判例集29巻7号355頁  
＝最判昭50・7・1 刑集29・7・355

なお、公刊物未登載のものは〈未〉と表示する。

### 【判例集等略語】

刑 録	大審院刑事判決録
刑 集	大審院刑事判決集、最高裁判所刑事判例集
民 集	最高裁判所民事判例集
裁 集 刑	最高裁判所裁判集刑事
高 刑 集	高等裁判所刑事判例集
高検速報（集）	高等裁判所刑事裁判速報（集）（各高等検察庁編）
判 決 特 報	高等裁判所刑事判決特報
裁 判 特 報	高等裁判所刑事裁判特報
東高刑時報	東京高等裁判所判決時報（刑事）
下 刑 集	下級裁判所刑事裁判例集
刑 裁 月 報	刑事裁判月報
裁判所ウェブサイト	裁判所ウェブサイト裁判例情報 ( <a href="https://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1">https://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1</a> )
判 例 秘 書	LLI/DB判例秘書INTERNET
LEX/DB	TKCローライブラリー
D1-Law	D1-Law.com判例体系

【雑誌類等略語】

警	学	警察学論集
警	研	警察研究
刑	雑 誌	刑法雑誌
刑	資	刑事裁判資料
現	刑	現代刑事法
司 研 集		司法研修所論集
司 研 報 告		司法研究報告書
ジ ュ リ		ジュリスト
論 究 ジュリ		論究ジュリスト
重	判	重要判例解説
裁	時	裁判所時報
曹	時	法曹時報
判	時	判例時報
判	タ	判例タイムズ
判	評	判例評論
法	教	法学教室
法	時	法律時報
法	セ	法学セミナー
刑	弁	季刊刑事弁護
ひ ろ ば		法律のひろば
刑 ジ ャ		刑事法ジャーナル

【主要文献略語】

井 田 総 論	井田良『講義刑法学・総論〔第2版〕』（有斐閣・2018年）
井 田 各 論	井田良『講義刑法学・各論〔第3版〕』（有斐閣・2023年）
大 谷 総 論	大谷實『刑法講義総論〔新版第6版〕』（成文堂・2025年）

大 谷 各 論	大谷實『刑法講義各論〔新版第5版〕』（成文堂・2019年）
佐 伯 総 論	佐伯仁志『刑法総論の考え方・楽しみ方』（有斐閣・2013年）
西 田 総 論	西田典之（橋爪隆補訂）『刑法総論〔第4版〕』（弘文堂・2025年）
西 田 各 論	西田典之（橋爪隆補訂）『刑法各論〔第8版〕』（弘文堂・2025年）
橋 爪 総 論	橋爪隆『刑法総論の悩みどころ』（有斐閣・2020年）
橋 爪 各 論	橋爪隆『刑法各論の悩みどころ』（有斐閣・2022年）
前 田 総 論	前田雅英『刑法総論講義〔第8版〕』（東京大学出版会・2024年）
前 田 各 論	前田雅英『刑法各論講義〔第7版〕』（東京大学出版会・2020年）
山 口 総 論	山口厚『刑法総論〔第4版〕』（有斐閣・2025年）
山 口 各 論	山口厚『刑法各論〔第3版〕』（有斐閣・2024年）
石井事実認定	石井一正『刑事事実認定入門〔第3版〕』（判例タイムズ社・2015年）
植村実践的事実認定	植村立郎『実践的刑事事実認定と情況証拠〔第4版〕』（立花書房・2020年）
木谷事実認定	木谷明編著『刑事事実認定の基本問題〔第3版〕』（成文堂・2015年）
小林＝香城事実認定	小林充＝香城敏磨編『刑事事実認定』（上）（下）（判例タイムズ社・1992年）
中川ほか事実認定	中川武隆ほか『情況証拠の観点から見た事実認定』（法曹会・1994年）
刑 事 大 系	『刑事裁判実務大系』全12巻（青林書院・1990年－1998年）
現代大系30	龍岡資晃編『現代裁判法大系30——刑法・刑事訴訟法』（新日本法規出版・1999年）

刑 事 手 続	三井誠ほか編『刑事手続』(上)(下)(筑摩書房・1988年)
新刑事手続	三井誠ほか編『新刑事手続』全3巻(悠々社・2002年)
佐伯ほか理論と実務	佐伯仁志ほか編『刑事法の理論と実務』第1巻-(成文堂・2019年-)
川上理論と実務	川上拓一編著『刑事手続法の理論と実務』(成文堂・2020年)
安廣刑事裁判	安廣文夫編著『裁判員裁判時代の刑事裁判』(成文堂・2015年)
石井証拠法	石井一正『刑事実務証拠法〔第5版〕』(判例タイムズ社・2011年)
証拠法大系	熊谷弘ほか編『証拠法大系』全4巻(日本評論社・1970年)
証拠法上の諸問題	大阪刑事実務研究会編『刑事証拠法の諸問題』(上)(下)(判例タイムズ社・2001年)
実 例 総 論	池田修＝杉田宗久編『新実例刑法〔総論〕』(青林書院・2014年)
実 例 各 論	池田修＝金山薫編『新実例刑法〔各論〕』(青林書院・2011年)
実 例 刑 訴	松尾浩也＝岩瀬徹編『実例刑事訴訟法』全3巻(青林書院・2012年)
池田ほか信用性	池田眞一ほか『共犯者の供述の信用性』(法曹会・1996年)
仙波ほか信用性	仙波厚ほか『犯人識別供述の信用性』(法曹会・1999年)
田崎ほか信用性	田崎文夫ほか『自白の信用性』(法曹会・1991年)
佐伯ほか難解概念	佐伯仁志ほか『難解な法律概念と裁判員裁判』(法曹会・2009年)
島田ほか裁判員との協働	島田一ほか『裁判員裁判と裁判官——裁判員との実質的な協働の実現をめざして』(法曹会・2019年)

判 解 刑	最高裁判所調査官室編『最高裁判所判例解説〔刑事篇〕昭和29年度-』（法曹会・1965年-）
百 選 総 論	佐伯仁志＝橋爪隆編「刑法判例百選Ⅰ 総論〔第8版〕」（2020年）
百 選 各 論	佐伯仁志＝橋爪隆編「刑法判例百選Ⅱ 各論〔第8版〕」（2020年）
刑 訴 百 選	大澤裕＝川出敏裕編「刑事訴訟法判例百選〔第11版〕」（2024年）
条 解 刑 法	前田雅英編集代表『条解刑法〔第5版〕』（弘文堂・2025年）
条 解 刑 訴	松尾浩也監修『条解刑事訴訟法〔第5版増補版〕』（弘文堂・2024年）
大コメ刑法	大塚仁ほか編『大コンメンタール刑法〔第3版〕』全13巻（青林書院・2013年-2021年）
大コメ刑訴	中山善房ほか編『大コンメンタール刑事訴訟法〔第3版〕』全11巻（青林書院・2021年-2025年）
注 釈 刑 訴	河上和雄ほか編『注釈刑事訴訟法〔第3版〕』第1・2・4・6・7巻（立花書房・2011年-2020年）
注解特別刑法	平野龍一ほか編『注解特別刑法』全7巻・補巻3巻（青林書院・1982年-1996年）
注釈特別刑法	伊藤榮樹ほか編『注釈特別刑法』全10巻（立花書房・1982年-1994年）
植 村 退 官	『植村立郎判事退官記念論文集』全3巻（立花書房・2011年）
小林＝佐藤古稀	『刑事裁判論集——小林充先生佐藤文哉先生古稀祝賀』（上）（下）（判例タイムズ社・2006年）
山 口 古 稀	佐伯仁志ほか編『山口厚先生古稀祝賀論文集』（有斐閣・2023年）

## 目 次

第4版はしがき

第3版はしがき

第2版はしがき

補訂版はしがき

は し が き

凡 例

- 1 不真正不作為犯 ..... 江 見 健 一 1  
○最決平17・7・4 刑集59・6・403
- 2 因 果 関 係 ..... 西 野 吾 一 12  
○最決平18・3・27 刑集60・3・382
- 3 正当防衛における「急迫性」 ..... 遠 藤 邦 彦 28  
○最決平29・4・26 刑集71・4・275
- 4 自招侵害と正当防衛 ..... 三 村 三 緒 45  
○最決平20・5・20 刑集62・6・1786
- 5 過剰防衛、防衛の意思 ..... 加 藤 陽 55  
①最決平20・6・25 刑集62・6・1859  
②最決平21・2・24 刑集63・2・1
- 6 責任能力の判断——妄想の影響が問題となった事例  
..... 浅 香 竜 太 68  
①東京高判令元・12・5 判タ1477・110  
②大阪高判令2・1・27 判時2515・77



7	窃盗症と責任能力・量刑 .....	友 重 雅 裕	85
	①東京高判令元・7・9 高検速報集令元・187		
	②東京高判令2・11・25高検速報集令2・274		
8	行政犯の故意 .....	向井香津子	102
	○最決平18・2・27刑集60・2・253		
9	租税は脱犯の故意 .....	中 島 経 太	119
	○東京高判平26・1・31判タ1407・242		
10	危険運転致死傷罪における主観的要件(アルコール、薬物摂取類型以外) ——「人又は車の通行を妨害する目的」、「赤色信号又はこれに相当する信 号を殊更に無視し」の各意義—— .....	島 戸 純	134
	①東京高判平16・4・13判時1890・156		
	②最決平20・10・16刑集62・9・2797		
11	危険運転致死傷罪(アルコール・薬物摂取類型) .....	蛭 原 意	147
	○最決平23・10・31刑集65・7・1138		
12	不 能 犯 .....	川 田 宏 一	163
	○最判昭51・3・16刑集30・2・146		
13	中 止 未 遂 .....	上 岡 哲 生	174
	○東京高判令2・1・10東高刑時報71・1・1、判タ1478・110		
14	支配型共謀の共同正犯 .....	平 城 文 啓	190
	○最決平15・5・1刑集57・5・507		
15	共同正犯と従犯の区別 .....	小 池 健 治	201
	○東京高判平25・5・28高刑集66・2・1		

16	共謀関係の解消 .....	佐々木一夫	217
	○最決平21・6・30刑集63・5・475		
17	罪数の評価 .....	馬場嘉郎	232
	①最決平21・7・7刑集63・6・507		
	②最決平21・10・21刑集63・8・1070		
18	性犯罪における「被害者供述の信用性」 .....	福島直之	248
	○東京高判令2・12・21高検速報集令2・281		
19	不同意性交等罪における「同意しない意思を形成し、表明し、全う することが困難な状態」の有無 .....	中川綾子	260
	○名古屋高判令2・3・12高検速報集令2・517		
20	強制性交等罪における「被害者の同意」及びその誤信 .....	中村光一	275
	①東京高判令2・11・17判例秘書L07520422、LEX/DB25569649		
	②福岡高判令2・2・5高検速報集令2・547		
21	強制わいせつ罪における性的意図について .....	薄井真由子	289
	○最大判平29・11・29刑集71・9・467		
22	贈収賄罪における「金品の授受」の有無 .....	熊代雅音	302
	○名古屋高判平28・11・28判時2366・55		
23	贈収賄罪における「賄賂性」 .....	駒田秀和	315
	○最決平24・10・15刑集66・10・990		
24	殺意の認定 .....	下津健司	330
	○最判令3・1・29刑集75・1・1		

25	暴行・傷害罪における「有形力（物理力）」の有無・内容 ..... 坂口裕俊	346
	○大阪高判平24・3・13判タ1387・376	
26	暴行・傷害罪における「故意」の有無・内容 ..... 行方美和	359
	○大阪地判平24・3・16判タ1404・352	
27	保護責任者遺棄致死罪 ——客体・保護責任・不保護・故意・因果関係 ..... 平出喜一	369
	○最判平26・3・20刑集68・3・499	
28	業務上過失致死傷事犯における注意義務の前提となる事実 ——「予見可能性」..... 岩崎邦生	383
	○最決平16・7・13刑集58・5・360、判時1877・152、判タ1167・146	
29	過失運転致死傷事犯における注意義務の前提となる事実 ——「回避可能性」..... 江口和伸	399
	○最判平15・1・24裁集刑283・241	
30	業務上過失致死傷事件における予見可能性 ..... 後藤有己	411
	○最決平28・5・25刑集70・5・117	
31	間接事実としての盗品の近接所持 ..... 平塚浩司	425
	○名古屋高判令3・2・9 D1-Law28290881、LEX/DB25569130	
32	窃盗罪における「占有」の有無 ..... 吉井隆平	440
	○最決平16・8・25刑集58・6・515	
33	恐喝罪と強盗罪との区別 ..... 戸蒔左近	454
	○福岡高判平29・9・19判タ1455・92	

34	電子計算機使用詐欺罪における「虚偽」性 ……………	井下田英樹	467
	○東京高判平24・10・30高検速報集平24・146		
35	詐欺罪における故意——特殊詐欺の受け子 ……………	高橋康明	482
	○最判令元・9・27刑集73・4・47		
36	すり替え窃盗における実行の着手時期 ……………	近道暁郎	496
	○最決令4・2・14刑集76・2・101		
37	詐欺罪における「人を欺く」行為 ……………	丹羽敏彦	511
	①最判平26・3・28刑集68・3・582		
	②最決平26・3・28刑集68・3・646		
38	背任罪における「図利加害目的」 ……………	品川しのぶ	527
	○最決平17・10・7刑集59・8・779		
39	盗品等有償取得罪における「盗品の知情」 ……………	河本雅也	539
	○最判昭58・2・24判タ491・58	高森宣裕	
40	常習累犯窃盗罪 ……………	青沼 潔	555
	○東京高判平24・12・3東高刑時報63・1＝12・259		
41	痴漢及び盗撮の常習性 ……………	國井恒志	571
	○福岡高判平22・9・24高検速報集平22・232		
42	薬物事犯における「薬物の認識」 ……………	染谷武宣	587
	○最決昭61・6・9刑集40・4・269		
43	薬物事犯における「使用の認識」 ……………	板津正道	601
	○東京高判平11・12・24高検速報集平11・116		

- 44 薬物事犯における「営利目的」…………… 佐伯恒治 617  
○大阪高判平9・6・20判タ971・277
- 45 薬物輸入罪における「薬物の知情性」…………… 長瀬敬昭 627  
○東京高判平28・9・6 高検速報集平28・135
- 46 道路交通法の法定速度違反…………… 村越一浩 643  
○最判平19・4・23裁集刑291・639
- 47 犯罪収益等に関する事実認定…………… 近藤和久 653  
○最決平20・11・4 刑集62・10・2811
- 48 DNA型鑑定…………… 宮田祥次 668  
①最決令2・12・22裁集刑328・67  
②最判令4・2・18裁集刑330・11
- 49 前科証拠や類似事実による事実認定…………… 大西直樹 681  
①最判平24・9・7 刑集66・9・907  
②最決平25・2・20刑集67・2・1
- 50 「被告人」の自白の信用性…………… 河畑 勇 701  
○最決平24・2・22判時2155・119、判タ1374・107
- 51 「共犯者」の供述の信用性…………… 足立 勉 717  
○最判平21・9・25裁集刑297・301、判タ1310・123、判時2061・153
- 52 「目撃者」の供述の信用性…………… 渡部市郎 733  
○東京高判平7・3・30判時1535・138
- 53 被害者の供述の信用性…………… 松田道別 749  
○最判平21・4・14刑集63・4・331

54 「年少者」の供述の信用性と司法面接 .....	市 原 志 都	763
○大阪高判令元・7・25判タ1475・84		
55 先行手続の違法と証拠能力 .....	増 田 啓 祐	778
○最判平15・2・14刑集57・2・121		
56 覚醒剤事犯における「被疑者の留め置き」 .....	辛 島 明	795
○東京高判令2・9・29高検速報集令2・240		
57 防犯カメラ画像による認定 .....	守 下 実	812
○東京高判平30・2・9判時2397・94		
58 取調べ録音録画の実質証拠としての利用 .....	安 東 章	825
○東京高判平30・8・3 東高刑時報69・1=12・56、判タ1456・75		
59 控訴審における事実誤認審査 .....	楡 井 英 夫	840
○最判平30・3・19刑集72・1・1		
60 犯人性に関する総合認定 .....	大 野 洋	853
○最判平30・7・13刑集72・3・324		
61 保釈における罪証隠滅と逃亡のおそれ .....	福 家 康 史	868
○最決平27・4・15裁集刑316・143、判タ1414・152、判時2260・129		
62 再 審 請 求 .....	細 谷 泰 暢	882
○最決令元・6・25裁集刑326・1、判タ1462・25、判時2422・108		
63 裁判官の事実認定に求めるもの ——検察官の立場から主に証拠採否について—— .....	入 江 淳 子	899
64 事案の個別性——弁護人の立場から .....	宮 村 啓 太	914

65 「検察官の立場から」、「弁護人の立場から」を受けて .....	遠藤邦彦 924
事項索引 .....	931
判例索引 .....	939
監修者・編集者・執筆者紹介 .....	961

# 1 不真正不作為犯

江 見 健 一

○最決平17・7・4 刑集59・6・403

## 事案の概要

1 被告人は、手の平で患者の患部をたたいてエネルギーを患者に通すことにより自己治癒力を高めるという「シャクティパット」と称する独自の治療（以下「シャクティ治療」という。）を施す特別の能力を持つなどとして信奉者を集めていた。

2 Aは、被告人の信奉者であったが、脳内出血で倒れて兵庫県内の病院に入院し、意識障害のため痰の除去や水分の点滴等を要する状態にあり、生命に危険はないものの、数週間の治療を要し、回復後も後遺症が見込まれた。Aの息子Bは、やはり被告人の信奉者であったが、後遺症を残さずに回復できることを期待して、Aに対するシャクティ治療を被告人に依頼した。

3 被告人は、脳内出血等の重篤な患者につきシャクティ治療を施したことはなかったが、Bの依頼を受け、滞在中の千葉県内のホテルで同治療を行うとして、Aを退院させることはしばらく無理であるとする主治医の警告や、その許可を得てからAを被告人の下に運ぼうとするBら家族の意図を知りながら、「点滴治療は危険である。今日、明日が山場である。明日中にAを連れてくるように。」などとBらに指示して、なお点滴等の医療措置が必要な状態にあるAを入院中の病院から運び出させ、その生命に具体的な危険を生じさせた。

4 被告人は、前記ホテルまで運び込まれたAに対するシャクティ治療をBらからゆだねられ、Aの容態を見て、そのままでは死亡する危険があることを認識したが、3の指示の誤りが露呈することを避ける必要などから、シャクティ治療をAに施すにとどまり、未必的な殺意をもって、痰の除去や水分の点滴等Aの生命維持のために必要な医療措置を受けさせないままAを



約1日の間放置し、痰による気道閉塞に基づく窒息によりAを死亡させた。

5 被告人は、要旨、「I病院に入院し前記状態にあつて治療を受けていたAが治療を打ち切れれば死亡するおそれが大いことを知りながら、それもやむなしと決意し、Bらと共謀の上、○月○日午前5時頃、同病院からAを運び出して千葉県のホテルに運び込み、医師による医療行為や薬剤及び水分の供与や痰の除去等Aの生存に必要な措置を何ら講じないまま放置し、よつて、その頃、同所において、同人を窒息死させて殺害した」という公訴事実により起訴された。

第1審（千葉地判平14・2・5判タ1105・284）は、被告人にはBらに指示してAを病院から運び出させた時から未必的な殺意があり、Bらと共謀の上、Aを病院から連れ出した作為と運び込まれたホテルでAを放置した不作为の複合した殺人罪に当たるとしてほぼ公訴事実どおりの事実を認定した。

控訴審（東京高判平15・6・26刑集59・6・450）は、Aを病院から運び出した時点で被告人に未必的殺意を認めるには合理的な疑いが残るとした上で、Aが本件ホテルに運び込まれてその容態を現認した時点で、被告人は、Aが死亡してもやむを得ないと考えるに至ったものと認定し、ホテルに運び込まれたAに対し直ちにその生存のために必要な医療措置を受けさせるべき作為義務を負っていたのに、これを怠つてAを死亡させたものであるから、不真正不作为犯による殺人罪に当たると判断した。控訴審が認めた犯罪事実の要旨は、「被告人は、○月○日午前5時頃、Bらに指示して、脳内出血により兵庫県内I病院に入院し、意識障害の状態にあり、痰の除去や、薬剤及び水分の点滴等の治療を受けていたAを、その身体に装着されていた点滴装置等を取り外すなどさせた上、車椅子に乗せて同病院から連れ出させ」、同日午前10時頃及び10時30分頃、「千葉県内Nホテル客室に運び込ませた際、同人に対し、直ちに痰の除去や水分の点滴等、その生命維持のために必要な医療措置を受けさせるべき義務を負っていたのに、これを怠り、同人が死亡するおそれがあることを認識していながら、それもやむを得ないと決意し、Bらと共謀の上、その頃から翌日午前6時35分頃までの間、Aに対し、痰の除去や水分の点滴等、その生命維持のために必要な医療措置を受けさせないまま、同人を放置し、よつて、そのころ、同所において、同人を粘稠化した痰による気道閉塞に基づく窒息により死亡させ、もつて同人を殺害したものである」というものである。

## 事項索引

### 【あ 行】

あおり	136
赤色信号	140
赤色信号看過	141
悪性格	685
悪性格立証	548
足利事件	703
あてはめの錯誤	105, 109
後知恵バイアス	26
アルコール濃度	152
アルコール・薬物類型	149
飯塚決定	895
意思（故意）証明の理論	549
意思説	335, 336
意思的要素	338
意思の連絡	204, 210
一罪一勾留の原則	235
一個の行為	239
一体的な関係性	226
一般通常人の認識	544
一般的職務権限	318
一方的に排除	223
偽りその他不正の行為	121
異同識別	816
違法収集証拠	779
違法収集証拠排除	798, 800, 802
違法収集証拠排除法則	781
違法性減少説	177
違法性の意識の可能性	104
違法薬物の知情性	633
意味の認識	106, 107, 109, 113, 118
意味の認識を妨げる事情	117
イラスト	907
医療行為	299
因果関係	381
因果関係の基本的部分	388
因果性遮断説	221, 224, 226, 228
因果性の遮断	222, 224, 225

因果的共犯論	220, 221, 225
インターネット検索	901
受け子	482, 487, 547
受け子による「抜き」	227
営業性	245
営業犯	241
営利目的	618
エックス線検査	788
黄色灯火の点滅	399, 401, 404, 405
大森勸銀事件	710
置き忘れ	447

### 【か 行】

概括的故意	631
概括的認識	633
概括的認識説	130
回収措置に関する経験則	637, 641
回収役	485, 490
蓋然性説	335
回避可能性	399
外部的障害	187
加害目的	528
核心司法	835
覚醒剤	602
覚醒剤自己使用事件	916
覚醒剤の認識	632
覚醒剤密輸事案	919
覚醒剤輸入罪	631
確定的認識	141, 542
科刑上一罪	234
かけ子による「抜き」	228
鹿兒島夫婦殺し事件	707
過失運転致死傷罪	401
過失構造論	385
過剰防衛	65
かすかいた現象	237, 240
画像鑑定	816
加速	135

仮定的蓋然性説……………	166	供述内容の具体性……………	308
換金の利益……………	315, 316, 320, 321, 322, 329	供述内容の具体性・迫真性……………	253
監護者性交等罪……………	268	供述内容の合理性……………	308
監護者わいせつ罪……………	262	供述内容の自然性・合理性……………	251
観察の正確性……………	739	供述の信用性……………	436
間接事実……………	425, 438, 684	供述の変遷……………	756, 910
間接事実からの総合認定……………	640	強制採尿……………	782, 789
間接事実相互間の有機的連関……………	552	強制採尿令状……………	798, 807, 809
間接事実の位置づけ……………	550	強制処分……………	785, 790, 791, 800
間接実現類型……………	17	強制処分該当性……………	800, 802, 804
間接証拠……………	815	行政処分の存否に関する誤信……………	111
間接正犯……………	8	競走……………	143
観念的競合……………	239	協働事項……………	53
カンファランス……………	679	共同正犯と幫助犯の区別……………	212
記憶の汚染……………	768	共同正犯の構造……………	225
記憶の正確性……………	741	協同面接……………	767
危惧感説……………	386	共犯の因果性……………	224
危険運転致死傷罪……………	134	共謀……………	204, 484, 489
危険性＋密接性基準説……………	500	共謀関係の解消……………	217, 219
危険性の認識・認容……………	137	共謀共同正犯……………	191
危険ドラッグ……………	153, 158, 159	共謀共同正犯と幫助犯の区別……………	205
危険の現実化……………	14	共謀の危険実現……………	224
偽証……………	784, 791	共謀の射程論……………	228
起訴裁量……………	237	虚偽……………	470
既知性……………	745	虚偽過少申告は脱犯……………	120
規範的構成要件……………	105	虚偽供述……………	721
規範的構成要件にかかる誤信……………	105	虚偽供述のおそれ……………	722, 727, 732
規範の保護目的論……………	19	虚偽供述の動機……………	256, 311, 721, 727, 732, 753, 754
既判力……………	238	虚偽の被害申告をする動機……………	754
義務違反連関……………	19	虚偽不申告は脱犯……………	120
欺罔行為……………	515	挙動による欺罔行為性……………	517
欺罔対象の重要事項性……………	522	許容性……………	699
逆走……………	136	緊急行為……………	30, 31, 38, 40
客体の不能……………	168	緊急行為性……………	32
客観説……………	14	空走距離……………	407
客観的観察条件……………	739	具体的危険説……………	165
客観的危険説……………	165	具体的牽連性……………	241
客観的帰属論……………	14	具体的事実の錯誤……………	591
客観的牽連性……………	240	クレプトマニア……………	568, 91
客観的処罰条件……………	112	クロロホルム事件……………	499
客観的注意義務……………	385	経験則……………	427, 690, 842
旧過失論……………	385, 395	形式的客観説……………	499
急迫性……………	30, 31, 35, 38	刑事免責制度……………	323
協議・合意制度……………	323	継続犯……………	244
供述経過……………	309	刑訴法382条……………	841
供述態度……………	256, 549, 829, 832, 833	ケースセオリー……………	914
供述調査……………	912		

劇型詐欺	498
結果回避可能性	385
結果回避義務	385, 386, 395
結果回避義務違反	395
結果発生防止行為	177
結果発生防止への貢献度	178
結果予見義務	385
結果予見義務違反	395
決定的動機	533
喧嘩闘争	47
研究・調査等に対する報酬	326
検索履歴	902
検証	403
原証拠	908
顕著な特徴	684
限定的再評価説	890
権利保釈除外事由	574
牽連犯	240, 245
故意	335, 482
故意の擬制	544
故意の推認	494
行為支配説	206
行為者自身の介入行為	22
行為者属性	557, 569
行為態様	339, 344
行為の個性	243, 245
抗拒不能	264
構成要件の符合説	591
構成要件の実質的な重なり合い	591
公訴事実	653
控訴審	464, 840
交通事故事件	403
交通整理の行われていない交差点	404
行動傾向の固定化	694
公判前・期日間整理手続	794
公判前整理手続	229
公判中心主義	830, 835
合法ドラッグ	606
勾留更新回数制限事由	574
国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律	658
国際的な組織犯罪の防止に関する国際連合条約	657
国連薬物犯罪事務所	657
個人責任の原則	221

殊更に無視	140
個別行為説	225
個別行為モデル	225
個別財産喪失説	522
個別認識説	130
混合DNA	675
混合的包括一罪	243, 246
混合的方法	89

## 【さ 行】

罪証隠滅	574
罪証隠滅のおそれ	872
再審	888
罪数評価	244, 246
罪数論	233
財田川決定	892
裁判員	5, 794
裁判員裁判	229, 258, 794
裁判員裁判における経験則	823
裁判員と裁判官の実質的協働	462
財物交付要求行為	501
詐欺罪	482, 515
詐欺の故意	486, 494
作為義務	2, 4, 9, 11
殺意	333, 335
狭山事件	706
時間的近接性	431
時系列	551
刺激証拠	904
自己	529
時効	238
自己図利目的	529
事実誤認	840
事実上の推認	605
事実的因果関係	13
事実の錯誤	105, 111
自招侵害	36, 46
自招防衛	33
自然的関連性	682
実況見分	403, 406
実刑判決後の保釈	878
実行行為後の介在事情	14
実行行為の終了	178
実行の着手	498
実行の着手時期	496

実質証拠	826	常習一罪	236, 238, 241
実質的客観説	193, 499	常習性	245, 571, 573, 576, 581
実質的協働	66	常習性の意義	557
実質的個別財産説	522	常習性の判断枠組	558
質的過剰	59	常習特殊窃盗罪	562
自動車の運転により人を死傷させる行為等 の処罰に関する法律	134	常習累犯窃盗罪	555
視認可能距離	407, 408	衝動	93, 99, 100, 101
支配型	210	情報の範囲	475
支配の意思	443	証明責任	793
支配の事実	443	条例	578
自白	339, 702	処遇プログラム	560
自白調査の暗示的影響力	703	職業的窃盗	560
自白と客観的事実・客観的証拠との符合性	705	職務	317
自白の経過、採取過程	711	職務行為	317
自白の信憑性	708	職務質問	781, 782, 790, 797, 806
自白の信用性	701, 835	職務密接関連行為	318
自白の信用性の判断基準	705	所持	428
司法面接	273, 767	所持品検査	781, 782, 783, 787, 790
司法面接の記録媒体	770	所持品に関する経験則	635
社交的儀礼	324, 325	処断刑	235
写真	904	所得秘匿工作	121, 125
写真面割り	742	所得秘匿工作という要素の位置づけ（法的 性質）	123
車線変更	136	白鳥事件	889, 891
遮断の規範的理解	224	自力救済	30, 31
惹起説	221	侵害回避	35, 37, 38
従前の経緯	139	侵害退避	35
重大な事実誤認	484	侵害の急迫性	47, 59
自由な心証	557	侵害の継続	61
終了未遂	177	侵害の継続性	60
収賄罪	315	侵害の始期	61
主観説	206	侵害の終期	61
主観的観察条件	739	侵害の終期・継続性	34
主観的要件	134	侵害の終了	60
主観的要素	695	侵害の予期	31, 32, 36, 37
出現頻度	673	人格的評価	684
傷害罪	346, 348	新過失論	385, 395
傷害の故意	361	信号無視	141
情況証拠	574, 704, 857	真摯性	178
消極的動機説	530	新・新過失論	386
消極的認容	337	身体に有害で違法な薬物類	594
条件関係	13	進捗度基準説	500
条件説	13	新麻薬条約	658
証拠調べの必要性	829	尋問事項	793
証拠能力	682, 779	信頼の原則	393, 423
証拠の採用	900	心理的因果性	19, 193, 222
		進路変更	135

推認	784
推認力	685, 815
推認力評価	550
図面	907
すり替え窃盗	496
スワット事件決定	204
制御能力	95
制限説	121
政策説	177
政治献金	325
正常な運転が困難な状態	
150, 151, 153, 154, 157, 158, 159, 160	
正常な運転に支障が生じるおそれのある状 態	150, 157, 158, 161
正対不正	31, 34
請託	323, 326
性的意図	289
性的意味合いの強さ	300
性的意味の有無	298
性的自己決定権	292
性的姿態撮影等処罰法	583
性的姿態等撮影罪	583
性的性質	294
青天の霹靂型弁解	637, 642
制動措置	142
正当防衛権	31
正犯意思	205, 207, 211
性犯罪	579, 584, 775
性犯罪特有の事情	754, 757, 758, 760
正犯性の解消	224, 230
正犯性を基礎付ける事情	224, 226
精密司法	831
赤色灯火の点滅	399, 404
責任減少説	177
責任能力	73, 91
積極的意図	136
積極的加害意思	32, 35, 41
積極的認容	337
摂食障害	93
折衷説	14
窃盗罪における占有	440, 452
窃盗症	91, 568
窃盗症の診断基準	91
説明事項	53
前科	558, 577, 580, 582, 585
前科事実による犯人性立証	548
前科証拠	681

全体行為説（全体行為モデル）	225
前提犯罪	655
全面的再評価説	890
専門家証人	822
占有	442
占有の継続	446, 451
占有の弛緩	505
占有の判断基準	442
前歴	577
訴因変更	238
草加事件民事上告審判決	705
総合考慮	553
総合的判断の手法	89, 100
総合評価	257, 439
総合評価説	889
捜査段階の供述	910
贈収賄罪	315
相対的証拠排除	781, 787, 789, 792, 793
相当因果関係説	13
相当性要件	776
組織的犯罪処罰法	653
訴訟要件	238
措置要件	776
損害	529

## 【た 行】

対価関係	317, 322, 328
第三者	529
第三者図利目的	529
第三者の行為の介入	19
対等型	210
代表者聴取	767
単純一罪	241, 245
痴漢	571, 575
痴漢行為	576
知識（知情・認識）証明の理論	549
知情性	660
千葉大チフス菌事件	703
着手前の離脱	220
着手未遂	177
注意義務	385
注意義務違反	395
中止行為の任意性	183
中止未遂	174
抽象的牽連性	241, 245

抽象的事実の錯誤	591
調書裁判	835
直接実現類型	16
直接証拠	815
チョコレート缶事件	856
追起訴	238
通謀	204
罪となるべき事実	655
停止位置	142
デジタル証拠	900
電子計算機使用詐欺罪	469
電車内の痴漢事件	756
伝聞例外	775
同意しない意思を形成し、表明し、全うする ことが困難な状態	260, 265
同価値性	5
動機・態様の類似性	559, 566
動機の形成	903
道具	8
盗撮	571, 575
盗撮行為	581
盗撮罪	583
当事者主義	848
逃走	143
盗品等罪	660
盗品等有償譲受け罪	656
盗品の近接所持	425, 861
盗品の知情性	543
逃亡のおそれ	875
道路交通法上の義務	404
特殊過失	416
特殊詐欺	227, 482, 485, 498, 547
毒樹の果実	786, 788, 791
特信性	770
特段の事情	916
図利加害目的	527
取調べの録音・録画	713
取調べ録音録画の実質証拠としての利用	835
取調べ録音録画を実質証拠として利用する 場合の証拠能力	828
取調べ録音録画を実質証拠として利用する 場合の必要性	829
都立富士高校放火事件	709
取引価格	547
取引態様	547
取引に関する事実	546

図利目的	528
------	-----

## 【な 行】

名張第5次決定	893
名張第6次決定	896
仁保事件	712
入手可能性	431
入手経路	436
尿鑑定	603
尿鑑定の検出限界	609
任意捜査	798, 799, 800, 808
任意捜査の適法性	799, 800
任意的没収	664
任意同行	778, 782
認識	336
認識ある過失	335
認識説	335
認識的要素	338, 339
認識の併存	661
認容	337
認容説	335, 336
抜き	227
練馬事件	203
年少者	766

## 【は 行】

排他的管理・支配	444
背任罪	527
売買代金と時価相当額との差額	315, 318, 319
派生証拠	786, 791
幅寄せ	136
犯行から一方的に排除	228
犯行継続のおそれ	220, 221
犯行に及ぶおそれ	223
犯行の継続を防止する措置	220
犯行を防止する措置	223
犯罪収益	653
犯罪性向	682
反対仮説	552
判断の性質	870
犯人識別供述	737
犯人性	684, 686, 838

反復暴行性	557, 569
被暗示性	766
被害者供述の信用性	756, 761
被害者証言の信用性	757
被害者の行為の介入	17
被害者の死因	17
被害者の心理	251
被害者の性的経歴	255
被害者の同意	275
被害者の同意についての誤信（錯誤）	285
被害申告	253
被害品	428
被害品の状況	435
被疑者取調べの録音録画制度	828
被告人供述の信用性判断手法	641
被告人質問	910
被告人の経済状態	435
被告人の言動	548
被告人の自白	910
被告人の認識	544
被告人の弁解の信用性	714
非常上告	888
必要性	699
人を欺く行為	515
秘密の暴露	710
被誘導性	766
フェティシズム	300
複合的視点	552
不作為による欺罔	517
不作為による殺人罪	3
不真正不作為犯	3, 11
不正の利益を図る目的	528
物品自体に関する事実	546
物理的因果性	222
不同意性交等	579
不同意わいせつ	579
不能犯	163
不法原因給付と詐欺	525
不保護	377
プラス誤差	648, 649
不利益供述	910
不利益主張	235
プレゼン方式	679
分析的評価と全体的評価	61
併合罪	234, 239
別個の犯罪事実論	225
便宜供与	323, 327

弁識能力	95
防衛行為の一体性	61, 62, 64, 65
防衛的意思	63, 64
防衛の意思	33, 63
法益関係の錯誤説	523
妨害行為	135
妨害目的	136
包括一罪	236, 239, 242, 245
包括説	121
包括的共謀	227
謀議	204
暴行罪	346, 348, 354
暴行の故意	360
防止措置	220
報酬約束	209
幫助犯	212, 666
暴走行為	144
防犯カメラ画像	815
方法の不能	167
法律説	177
法律的関連性	829
法律の錯誤	105, 109, 111, 112
法令適用の誤り	235
補強証拠	558
保護責任	374
保護責任者遺棄	847
保釈条件	878
保釈の審査手続	880
保釈の判断枠組み	870
保障人の地位	4
補助証拠	826
ほ脱の意思	124
没収・追徴	665
本人	529
本人加害目的	529
本人図利	531
本来の一罪	234, 241, 242

## 【ま 行】

巻き込みの危険	721, 727, 732
マスキング	906
マネーロンダリング	657
麻薬及び向精神薬の不正取引の防止に関する国際連合条約	658
マルヨ無線決定	894



満員電車内の痴漢事件	753, 760, 761
未必的な殺意	2, 3, 8
未必的な認識	486, 542, 659
未必的な認識・認容	137
未必の故意	335, 485
明示義務	230
明白性	889
迷惑防止条例	575, 579
専ら攻撃の意思	63

## 【や 行】

薬物の種類の誤認	589
薬物の知情性	627
薬物の認識	593
役割分担型	210
有形力	346, 348, 354
尤度比	676
要扶助者	371
予見可能性	385, 387, 390, 395, 417
予定主張	229

## 【ら 行】

利益	317, 318, 322, 529
離脱	219
離脱の意思表示明と了承	221
立証構造	543
立証命題	699
流通性	434
理由不備	654
量刑	96
量の過剰	59, 65
類似事実	681
令状主義	779
録音・録画	912

## 【わ 行】

「わいせつな行為」該当性	293
賄賂	307, 317, 322
賄賂性	315, 321, 322, 326
割り込み	136

## 【英 字】

DNA型鑑定	672
GPS捜査	788
PCR増幅	676
STR型検査法	672
UNODC	657
UNTOC条約	657

## 【数 字】

2条1号の危険運転致死傷罪	150, 151
3条1項の危険運転致死罪	157
3条1項の危険運転致死傷罪	150, 151, 160
3条1項の危険運転致傷罪	160
7つの着眼点	90
8ステップモデル	89

## 判例索引

### 【大審院、最高裁判所】

大判明43・12・19刑録16・2239	317
大判大3・5・20刑録20・960	557, 574
大判大3・7・24刑録20・1546	168
大判大3・10・16刑録20・1867	529
大判大3・10・21刑録20・1898	449
大判大4・2・10刑録21・90	8
大判大4・5・21刑録21・670	371
大判大6・9・10刑録23・999	167
大判大7・5・24刑録24・15・647	686
大判大8・5・31刑録25・737	542
大判大9・5・8刑録26・348	517
大判大11・11・17刑集1・10・666	105
大判大12・4・30刑集2・378	22
大判大13・11・11刑集3・788	529
大判大14・4・9刑集4・219	317
大判大14・11・27刑集4・11・680	110
大判大14・12・12刑集4・755	318
大判大15・4・20刑集5・136	531
大判昭3・4・6刑集7・291	380
大判昭4・12・4刑集8・609	325
大判昭6・12・3刑集10・682	73, 89
大判昭7・8・6刑集11・1169	557, 573
大判昭8・4・15刑集12・427	348
大判昭9・6・14刑集13・811	317
大判昭9・7・19刑集13・993	557
大判昭9・10・11刑集13・1352	656
大判昭10・8・17刑集14・885	325
大判昭12・6・25刑集16・998	178
大判昭13・4・19刑集17・336	179
大判昭14・3・22刑集18・151	557, 573
大判昭19・2・8刑集23・1	458
最判昭22・12・15刑集1・80	360
最判昭23・3・16刑集2・3・227	336, 542
最判昭23・4・17刑集2・4・399	507
最大判昭23・7・7刑集2・8・793	35, 46
最判昭23・7・29刑集2・9・1067	573
最判昭23・10・30刑集2・11・1424	656

最判昭23・11・18刑集2・12・1614	457
最判昭24・2・8刑集3・2・75	457
最判昭24・2・8刑集3・2・113	204
最判昭24・5・7裁集刑10・45	457
最判昭24・5・10刑集3・6・711	261
最判昭24・7・9刑集3・8・1174	184
最判昭24・7・9刑集3・8・1213	121
最判昭25・6・27裁集刑18・369	360
最判昭25・8・31刑集4・9・1593	167
最決昭26・4・13刑集5・5・902	883
最判昭28・10・27刑集7・10・1971	318
最判昭29・8・20刑集8・8・1277	362
最判昭29・11・5刑集8・11・1675	529
最決昭31・7・17刑集10・7・1075	318
最決昭32・9・10刑集11・9・2202	184
最判昭32・10・3刑集11・10・2413	111
最判昭32・11・8刑集11・12・3061	442
最大判昭33・5・28刑集12・8・1718	191, 203
最判昭33・6・6裁集刑126・171	263
最判昭33・7・11刑集12・11・2553	557
最判昭33・9・9刑集12・13・2882	336
最決昭33・9・30刑集12・13・3180	317
最判昭34・7・24刑集13・8・1163	375
最決昭35・8・12刑集14・10・1360	533
最決昭35・12・12刑集14・13・1897	618
最判昭36・1・13刑集15・1・113	317
最決昭36・11・21刑集15・10・1731	13
最判昭37・3・16裁集刑141・511	449
最判昭37・3・23刑集16・3・305	167
最判昭37・5・29刑集16・5・528	318
最大判昭37・5・30刑集16・5・577	578
最判昭38・2・12刑集17・3・183	121
最決昭38・5・30裁集刑147・409	374
最決昭39・1・28刑集18・1・31	349
最決昭40・3・9刑集19・2・69	507
最決昭41・4・18刑集20・4・228	317
最決昭41・9・20裁集刑160・773	646
最決昭41・11・22刑集20・9・1035	549, 695
最判昭41・12・20刑集20・10・1212	396
最決昭42・3・3刑集21・2・383	619
最決昭42・5・25刑集21・4・584	385
最判昭42・10・13刑集21・8・1097	397
最決昭42・10・24刑集21・8・1116	14, 21, 389
最大判昭42・11・8刑集21・9・1197	121
最決昭43・6・6刑集22・6・434	517
最判昭43・6・14刑集22・6・477	557
最判昭43・10・25刑集22・11・961	721

最判昭43・12・17刑集22・13・1525	396
最判昭43・12・24判タ230・254	396
最決昭44・5・22刑集23・6・918	404
最判昭45・1・29刑集24・1・1	289
最決昭45・7・28刑集24・7・585	504
最判昭45・7・31刑集24・8・597、判時598・37、判タ251・137	712
最判昭45・11・17刑集24・12・1622	397
最判昭46・6・25刑集25・4・655	396
最判昭46・11・16刑集25・8・996	29, 31, 32, 33, 34, 52, 63
最判昭47・11・16刑集26・9・538	397
最判昭48・3・15刑集27・2・128	649
最判昭48・3・20刑集27・2・138	121
最判昭48・3・22刑集27・2・240	398
最判昭48・5・22刑集27・5・1077	398
最大判昭49・5・29刑集28・4・114	239
最決昭49・12・13裁集刑194・341	121
最判昭50・4・24判時774・119	325
最決昭50・5・20刑集29・5・177	889, 891
最判昭50・11・28刑集29・10・983	33, 63
最大判昭51・3・4刑集30・2・79	585
最判昭51・3・16刑集30・2・146	163
最決昭51・3・16刑集30・2・187	800
最決昭51・10・12刑集30・9・1673	892
最決昭52・7・21刑集31・4・747	29, 32, 35, 47
最決昭52・8・9刑集31・5・821、判時864・22、判タ352・138	706
最決昭52・9・19刑集31・5・1003	109
最決昭52・12・7刑集31・7・1041	391
最決昭53・3・22刑集32・2・381	23
最決昭53・9・4刑集32・6・1077	336
最判昭53・9・7刑集32・6・1672	781
最決昭54・3・27刑集33・2・140	589, 632
最決昭54・11・19刑集33・7・728	388
最判昭54・12・4裁集刑216・505、判時954・124	403
最決昭55・4・18刑集34・3・149	387
最決昭55・10・23刑集34・5・300	798
最決昭56・12・21刑集35・9・911	336
最判昭57・1・28刑集36・1・67、判時1029・27、判タ460・68	707
最決昭57・3・16裁集刑226・1・判時1038・34、判タ467・62	710
最決昭57・5・25裁集刑227・337、判時1046・15、判タ470・50	703
最決昭57・6・28刑集36・5・681	618
最決昭57・7・16刑集36・6・695	192, 204
最決昭57・11・8刑集36・11・879	388
最判昭58・2・24判タ491・58	539
最判昭58・7・12刑集37・6・791	786
最決昭58・9・13裁集刑232・95、判タ513・168	74, 89
最判昭59・4・24刑集38・6・2196	722
最決昭59・7・3刑集38・8・2783	75, 89

最判昭60・9・12刑集39・6・275	33, 63
最判昭61・2・14刑集40・1・48	648
最判昭61・4・25刑集40・3・215	781
最決昭61・6・9刑集40・4・269	587, 632
最決昭62・7・16刑集41・5・237	104
最決昭63・1・19刑集42・1・1	374
最決昭63・5・11刑集42・5・807	14, 17
最決昭63・7・18刑集42・6・861	317, 320
最決昭63・9・2刑集42・7・975	121
最決昭63・9・16刑集42・7・1051	782, 806
最判昭63・10・27刑集42・8・1109	394
最決昭63・11・21刑集42・9・1251	529
最決平元・3・14刑集43・3・262	387
最判平元・6・22刑集43・6・427	723
最決平元・6・26刑集43・6・567	219
最判平元・7・18刑集43・7・752	112
最判平元・10・26裁集刑253・167	743, 762, 768
最決平元・12・15刑集43・13・879	375
最決平2・2・9裁集刑254・99、判時1341・157、判夕722・234	491, 593, 615, 632, 634
最決平2・11・20刑集44・8・837	14, 16
最決平2・11・29刑集44・8・871	394
最決平3・2・1刑集45・2・1	336
最判平4・7・10裁集刑260・311、判時1430・145	402, 405, 407
最決平4・12・17刑集46・9・683	18
最決平6・9・13刑集48・6・289	125
最決平6・9・16刑集48・6・420	782, 798
最決平7・5・30刑集49・5・703	783
最判平7・7・17裁集刑266・811	305
最決平8・10・29刑集50・9・683	783
最決平9・1・28刑集51・1・1	893
最判平9・6・16刑集51・5・435	34, 60
最決平9・7・10刑集51・6・533	107
最決平10・10・27刑集52・7・363	894
最決平10・11・25刑集52・8・570	530
最判平11・10・21裁集刑276・579	762
最判平12・2・7民集54・2・255、判時1705・32、判夕1026・75	705
最決平12・7・17刑集54・6・550	672
最決平12・12・20刑集54・9・1095	388, 418
最判平13・7・19刑集55・5・371	523
最決平14・4・8裁集刑281・423	896
最決平14・10・15刑集56・8・522	132
最決平14・10・21刑集56・8・670	516
最判平15・1・24裁集刑283・241	399
最判平15・2・14刑集57・2・121	778
最決平15・3・12刑集57・3・322	517
最決平15・5・1刑集57・5・507	190, 204, 336
最決平15・5・26刑集57・5・620	787

最決平15・7・16刑集57・7・950	18
最決平16・2・9刑集58・2・89	520
最決平16・2・17刑集58・2・169	16
最決平16・3・22刑集58・3・187	499
最決平16・7・13刑集58・5・360、判時1877・152、判タ1167・146	383
最決平16・8・25刑集58・6・515	440
最決平16・10・19刑集58・7・645	24
最決平17・3・29刑集59・2・54	363
最判平17・4・14刑集59・3・283	241
最決平17・7・4刑集59・6・403	1
最決平17・8・1刑集59・6・676	241
最決平17・9・27刑集59・7・753	829
最決平17・10・7刑集59・8・779	336, 527
最決平18・2・14刑集60・2・165	473
最決平18・2・27刑集60・2・253	102
最決平18・3・27刑集60・3・382	12, 20
最決平19・3・26刑集61・2・131	394, 423
最判平19・4・23裁集刑291・639	643
最決平19・7・17刑集61・5・521	516
最決平19・11・14刑集61・8・757	336
最判平20・4・22刑集62・5・1528	666
最判平20・4・25刑集62・5・1559	75, 89, 675
最決平20・5・20刑集62・6・1786	33, 36, 45
最決平20・6・25刑集62・6・1859	55
最決平20・8・27判タ1301・124	525
最決平20・10・16刑集62・9・2797	140
最決平20・11・4刑集62・10・2811	653
最決平20・11・10刑集62・10・2853	579
最決平21・2・24刑集63・2・1	55
最判平21・4・14刑集63・4・331	749
最決平21・6・30刑集63・5・475	217
最決平21・7・7刑集63・6・507	232
最判平21・9・25裁集刑297・301、判タ1310・123、判時2061・153	717
最決平21・9・28刑集63・7・868	788
最判平21・10・19裁集刑297・489	196
最決平21・10・21刑集63・8・1070	232
最決平21・12・7刑集63・11・2641	388
最決平21・12・8刑集63・11・2829	77, 89
最決平22・3・17刑集64・2・111	243, 525
最判平22・4・27刑集64・3・233	439, 860
最決平22・7・29刑集64・5・829	516
最決平22・10・26刑集64・7・1019	15
最判平23・7・25裁集刑304・139	758, 762
最決平23・10・31刑集65・7・1138	147
最大判平23・11・16刑集65・8・1285	848
最決平24・2・8刑集66・4・200	19
最判平24・2・13刑集66・4・482	464, 600, 641, 841, 856

最決平24・2・22判時2155・119、判タ1374・107	701
最判平24・9・7 刑集66・9・907	548, 681
最決平24・10・15刑集66・10・990	315
最決平24・10・26裁集刑308・481	870
最決平24・11・6 刑集66・11・1281	221
最決平25・2・20刑集67・2・1	549, 683
最決平25・4・16刑集67・4・549	206, 846
最決平25・9・30判例秘書L06810093、LEX/DB25502137	201
最決平25・10・21刑集67・7・755	599, 637, 919
最判平26・3・20刑集68・3・499	369
最決平26・3・25裁集刑313・319	870
最判平26・3・28刑集68・3・582	511
最決平26・3・28刑集68・3・646	513
最決平26・4・7 刑集68・4・715	516
最決平26・7・8 判タ1407・75	742
最決平26・11・17裁集刑315・183	574, 873
最決平26・11・18刑集68・9・1020	870
最決平27・3・3 LEX/DB25506118	197
最決平27・4・15裁集刑316・143、判タ1414・152、判時2260・129	868
最決平28・5・25刑集70・5・117	394, 411
最決平28・10・25判例秘書L07110088、LEX/DB25544913	904
最判平29・3・10裁集刑321・1	815
最大判平29・3・15刑集71・3・13	788
最決平29・4・26刑集71・4・275	28, 47
最大判平29・11・29刑集71・9・467	289
最決平29・12・11刑集71・10・535	172
最決平29・12・11LEX/DB25560198	303
最判平30・3・19刑集72・1・1	374, 840
最判平30・3・22刑集72・1・82	498, 500
最判平30・5・10刑集72・2・141	672
最判平30・7・13刑集72・3・324	430, 853
最決平30・10・23刑集72・5・471	144
最判平30・12・11刑集72・6・672	490
最判平30・12・14刑集72・6・737	492
最決令元・6・25裁集刑326・1、判タ1462・25、判時2422・108	882
最判令元・9・27刑集73・4・47	482
最決令2・3・4 判例秘書L07510063、LEX/DB25566913	826
最決令2・8・24刑集74・5・517	8
最決令2・9・16刑集74・6・581	104
最決令2・12・22裁集刑328・67	668
最判令3・1・29刑集75・1・1	330
最決令3・4・21刑集75・4・389	895
最決令3・5・12刑集75・6・583	275
最判令3・7・30刑集75・7・930	788, 806
最決令4・2・14刑集76・2・101	496
最判令4・2・18裁集刑330・11	670
最判令4・4・21刑集76・4・268	845

最判令 4・4・28刑集76・4・380	789, 807
最決令 4・12・5 刑集76・7・707	579
最決令 5・6・20刑集77・5・155	509
最判令 6・7・16刑集78・3・113	481



## 【高等裁判所】

東京高判昭25・6・10高刑集3・2・222	349
東京高判昭25・9・14高刑集3・3・407	221
名古屋高判昭25・11・14高刑集3・4・748	507
名古屋高金沢支判昭26・8・13判決特報30・60	361
仙台高判昭27・7・19判決特報22・152	547
福岡高判昭28・1・12高刑集6・1・1	230
大阪高判昭28・4・28判決特報28・21	110
福岡高判昭28・11・10判決特報26・58	168
大阪高判昭29・3・4判決特報28・97	361
東京高判昭30・4・18高刑集8・3・325	110
仙台高判昭30・4・26高刑集8・3・423	448
東京高判昭30・10・17高刑集8・7・946	619
仙台高判昭30・12・8裁判特報2・24・1267	349
大阪高判昭31・2・16裁判特報3・3・96	546
大阪高判昭31・5・31刑集10・10・1498	557
仙台高秋田支判昭34・9・23下刑集1・9・1914	559
名古屋高金沢支判昭36・5・2下刑集3・5＝6・399	294
広島高判昭36・7・10高刑集14・5・310	169
東京高判昭36・7・18高刑集14・4・250	167
東京高判昭36・8・8判時281・31	448
仙台高判昭38・6・7高刑集16・5・395	364
仙台高判昭40・2・19下刑集7・2・105	458
大阪高判昭41・6・24高刑集19・4・375	223
東京高判昭42・9・7刑資208・70	645
大阪高判昭44・6・28高刑集22・3・423	889
名古屋高判昭45・4・22高刑集23・2・344	558, 577
東京高判昭46・4・15判タ267・380	646
大阪高判昭47・3・6刑裁月報4・3・451	364
名古屋高判昭47・3・7刑裁月報4・3・461	364
大阪高判昭49・7・17刑裁月報6・7・805	366
福岡高判昭49・9・25判時768・120	649
東京高判昭49・10・24高刑集27・5・455	163
東京高判昭50・4・15刑裁月報7・4・480	350
東京高判昭50・10・13東高判時報26・10・172	563
札幌高判昭51・3・18高刑集29・1・78	388, 417
東京高判昭51・5・10刑裁月報8・4＝5・247	619
東京高判昭51・12・6東高判時報27・12・160	351
名古屋高判昭52・5・10判時852・124	449
福岡高判昭52・6・16判時866・190	740
東京高判昭53・3・16麻薬・覚せい剤等刑事裁判例集441	619
東京高判昭53・3・29刑裁月報10・3・233、判時892・29	709

大阪高判昭53・5・25判タ369・433	391
東京高判昭54・3・19高刑集32・1・44	131
東京高判昭54・4・12判時938・133	446
東京高判昭54・11・27高検速報2391	650
福岡高判昭55・7・8判資260・439	624
広島高判昭55・7・8判タ428・207	651
東京高判昭55・12・1 税務訴訟資料126・1835	131
東京高判昭56・9・16刑裁月報13・10=11・759	619
福岡高判昭56・9・21判タ464・178	517
広島高判昭57・2・25判時1053・180	402, 403, 405, 407, 408
福岡高判昭58・2・28判タ497・179	449
東京高判昭58・6・1判時1106・161	646
大阪高判昭59・3・27判時1116・140	93
大阪高判昭59・6・26高検速報集昭59・391	362
大阪高判昭60・3・29判タ556・204	740
高松高判昭60・4・11判時1167・158	621
東京高判昭60・4・30判タ555・330	740
東京高判昭60・6・26刑裁月報17・5=6・539、判時1180・141、判タ564・288	740
大阪高判昭60・12・12刑裁月報17・12・1200、判タ605・102	402, 405, 408
東京高判昭60・12・24高検速報集昭60・261	525
東京高判昭61・1・28判タ580・95	649
福岡高那覇支判昭61・2・6判時1184・158	403
大阪高判昭61・4・4判タ606・95	741
福岡高判昭61・9・11判タ625・238	209
東京高判昭62・8・20判タ645・269	649
大阪高判昭62・10・2判タ675・246	722
名古屋高判昭62・10・13判タ672・253	650
福岡高判昭63・1・28判時1269・155	459
東京高判平元・7・19判時1323・159	725
東京高判平元・7・31判タ716・248	594
福岡高判平2・2・7判時1345・143	314
東京高判平2・5・10判タ741・245	558
東京高判平2・10・1判時1361・154	123
東京高判平2・12・3 税務訴訟資料179・4426	122
大阪高判平3・2・15判時1377・138	740
東京高判平3・4・1判時1400・128	446
東京高判平3・10・14判時1406・122	123
大阪高判平4・2・28判時1470・154、判タ829・277	740
東京高判平4・5・27東高刑時報43・1=12・23	430
福岡高判平4・7・16判タ799・254	433
大阪高判平4・9・9判タ833・270	646
東京高判平4・12・7判タ822・276	436
仙台高判平5・2・1判時1501・160	391
福岡高判平5・3・8判タ834・275	621

東京高判平5・5・13高検速報集平5・45	596
東京高判平5・6・29高刑集46・2・189	471
東京高判平5・11・30判時1495・141	563
東京高判平6・5・16東高刑時報45・1=12・32	460
東京高判平6・12・2判時1533・25、判タ865・107	740
福岡高判平7・1・25判時1559・147	402, 405, 407
東京高判平7・3・30判時1535・138	733
東京高判平7・7・5高検速報集平7・78	625
東京高判平8・1・17判時1558・145、判タ908・264	740
高松高判平8・10・8判タ929・270	604
大阪高判平8・12・25刑集51・5・449	60
東京高判平9・4・22判タ946・265	740
大阪高判平9・6・20判タ971・277	617
大阪高判平9・7・3判タ980・273	740
広島高判平10・3・19判時1645・157	564
東京高判平10・10・12高刑集51・3・479	559, 564
名古屋高判平11・10・6判タ1026・297	741
東京高判平11・12・24高検速報集平11・116	601
東京高判平11・12・27刑集58・5・466	384
東京高判平12・8・2判時1725・174	740
東京高判平13・10・24東高刑時報52・1=12・79	392
東京高判平14・1・8判時1783・156	609
東京高判平14・1・28判時1810・166	542
東京高判平14・6・12高検速報集平14・69	604
福岡高判平14・6・19裁判所ウェブサイト	431
東京高判平14・7・15判時1822・156	609, 918
名古屋高判平14・8・29判時1831・158	223, 228
大阪高判平14・9・4判タ1114・293	365
大阪高判平14・11・26無罪事例集9・92	433
名古屋高判平15・6・2判時1834・161	301
東京高判平15・6・26刑集59・6・450	2
大阪高判平15・11・5判時1864・175	740
大阪高判平16・1・30高刑集57・1・1	596
東京高判平16・3・5東高刑時報55・1=12・10	596
東京高判平16・4・13判時1890・156	134
東京高判平16・4・15判時1890・158	139
福岡高那覇支判平16・7・13高検速報集平16・200	743
大阪高判平16・9・9高検速報集平16・160	363
東京高判平16・12・1判時1920・154	351, 364
広島高判平17・1・18高検速報集平17・303	742
大阪高判平17・6・16刑集60・2・175	473
仙台高判平18・4・27高検速報集平18・313	604, 607
仙台高秋田支判平18・7・25高検速報集平18・320	621
東京高判平18・10・19高検速報集平18・206	648

東京高判平18・10・25判タ1223・124	428
福岡高判平18・12・15裁判所ウェブサイト	428
東京高判平19・2・28高検速報集平19・143	604, 610
東京高判平19・5・21東高刑時報58・1＝12・29	243
東京高判平19・8・7高検速報集平19・280	817
東京高判平19・12・15刑集62・6・1879	56
大阪高判平20・4・17刑集62・10・2845	653
広島高判平20・5・27高検速報集平20・224	137
東京高判平20・9・25東高刑時報59・1＝12・83	803
大阪高判平20・10・14刑集63・2・15	57
東京高判平21・6・11東高刑時報60・1＝12・77	755
東京高判平21・7・1判タ1308・308	450
東京高判平21・7・1判タ1314・302	799
東京高判平21・8・19東高刑時報60・1＝12・124	546
東京高判平21・10・14東高刑時報60・1＝12・153	138
広島高判平21・12・14裁判所ウェブサイト	701
東京高判平21・12・21高検速報集平21・158	820
東京高判平22・2・15東高刑時報61・1＝12・31	808
東京高判平22・2・24東高刑時報61・1＝12・43	596
東京高判平22・6・16東高刑時報61・1＝12・125	243
福岡高判平22・9・24高検速報集平22・232	571
東京高判平22・11・8高刑集63・3・4	799
東京高判平22・12・9東高刑時報61・1＝12・321	636
東京高判平23・3・17東高刑時報62・1＝12・27	802
東京高判平23・4・18東高刑時報62・1＝12・37	382
福岡高判平23・5・25判タ1384・370	816
名古屋高判平23・7・5高検速報集平23・216	432
東京高判平23・8・16判例秘書L06620931、LEX/DB25542993	93
東京高判平23・8・18高検速報集平23・126	615
大阪高判平23・9・15判例秘書L06620419	429
東京高判平23・12・8東高刑時報62・1＝12・133	596
大阪高判平24・3・13判タ1387・376	346
東京高判平24・4・4東高刑時報63・1＝12・48	599
東京高判平24・4・11東高刑時報63・1＝12・60	450
東京高判平24・4・26東高刑時報63・1＝12・76	762
高松高判平24・6・19判例秘書L06720343、LEX/DB25500095	433
広島高岡山支判平24・7・4判例秘書L06720347	267
東京高判平24・7・5東高刑時報63・1＝12・139	762
東京高判平24・10・17東高刑時報63・1＝12・211	450
東京高判平24・10・30高検速報集平24・146	467
東京高判平24・12・3東高刑時報63・1＝12・259	555
東京高判平24・12・13判タ1408・274	519
東京高判平25・3・28〈未〉	143
大阪高判平25・4・17判例秘書L06820254	158

仙台高判平25・4・25刑集69・2・269	212
東京高判平25・5・28高刑集66・2・1	201
東京高判平25・7・17東高刑時報64・1＝12・152	93
東京高判平25・7・25判例秘書L06820425、LEX/DB25505391	762
大阪高判平25・8・30LEX/DB25506214	197
仙台高判平25・9・19高検速報集平25・250	301
東京高判平25・11・1判例秘書L06820952、LEX/DB25543008	93
東京高判平26・1・31判タ1407・242	119
大阪高判平26・3・18判例秘書L06920124、LEX/DB25561228	93
東京高判平26・3・26高刑集67・1・8	142
大阪高判平26・6・13LEX/DB25504151	535
東京高判平26・6・20高検速報集平26・79	416
東京高判平26・7・15東高刑時報65・1＝12・54	762
大阪高判平26・8・19裁判所ウェブサイト	522
東京高判平26・9・18判例秘書L06920387、LEX/DB25504808	757
広島高判平26・9・18判例秘書L06920487、LEX/DB25504894	382
福岡高宮崎支判平26・12・11判例秘書L06920607、LEX/DB25505426	265, 288
札幌高判平26・12・18判タ1416・129	803
東京高判平27・2・9判例秘書L07020658、LEX/DB25543012	93
高松高判平27・2・12LEX/DB25506139	613, 918
東京高判平27・2・26高検速報集平27・91	326
東京高判平27・3・4判時2286・138	802
福岡高判平27・3・25高検速報集平27・274	613
東京高判平27・6・5〈未〉	137
福岡高判平27・8・28判例秘書L07020361、LEX/DB25541173	22
東京高判平27・10・8判タ1424・168	802
仙台高判平27・10・29判時2281・74	904
東京高判平27・11・26判例秘書L07020541	757
札幌高判平27・12・8LEX/DB25541866	155
東京高判平27・12・24判例秘書L07020579、LEX/DB25541971	818
大阪高判平28・2・10高検速報集平28・181	613
東京高判平28・4・15東高刑時報67・1＝12・28	803
東京高判平28・5・6〈未〉	137
東京高判平28・5・20判例秘書L07120212	817
東京高判平28・6・8判例秘書L07120242、LEX/DB25543346	160
大阪高判平28・6・14高検速報集平28・198	665
東京高判平28・6・24東高刑時報67・1＝12・69	808
広島高判平28・7・21高検速報集平28・241	432
東京高判平28・8・10判タ1429・132、判時2329・98	713, 830
東京高判平28・9・6高検速報集平28・135	627
東京高判平28・11・24判例秘書L07120590、LEX/DB25544760	375
名古屋高判平28・11・28判時2366・55	302
東京高判平28・12・9判時2332・109	611
東京高判平28・12・21高検速報集平28・174	235

福岡高判平29・1・27LEX/DB25545313	338
東京高判平29・3・16東高刑時報68・1＝12・60	748
広島高松江支判平29・3・27判時2370・117	855
東京高判平29・4・12判時2375＝2376・219	144
広島高岡山支判平29・4・19裁判所ウェブサイト	533
東京高判平29・6・28判時2402・105	808
福岡高判平29・9・19判タ1455・92	454
東京高判平29・9・26高検速報集平29・179	22
札幌高判平29・9・26高検速報集平29・338	607
東京高判平29・10・18東高刑時報68・1＝12・125	446
名古屋高判平29・11・6裁判所ウェブサイト	432
名古屋高判平29・12・4LEX/DB25549390	664
大阪高判平29・12・7判例秘書L07220541	724
東京高判平29・12・13裁判所ウェブサイト	520
東京高判平30・1・12高検速報集平30・69	605, 608
高松高判平30・1・19判例秘書L07320106	212
東京高判平30・2・9判時2397・94	812
福岡高判平30・2・16高検速報集平30・436	616
東京高判平30・3・2判タ1456・136	801
福岡高宮崎支決平30・3・12判時2382・77	882
東京高判平30・3・22判時2406・78	432
東京高判平30・5・14LEX/DB25560935	144
東京高判平30・5・16高検速報集平30・174	227
東京高決平30・6・11判時2566・190	668
福岡高判平30・7・4裁判所ウェブサイト	155
東京高判平30・7・20刑集73・4・112	483
東京高判平30・7・30判時2425・111	435
東京高判平30・8・3東高刑時報69・1＝12・56、判タ1456・75、判時2389・3	713, 825, 912
大阪高判平30・8・30判時2430・140	801
東京高判平30・8・31判時2438・99	93
仙台高判平30・10・23高検速報集令元・553	576
名古屋高判平30・12・18高検速報集平30・409	503
東京高判令元・5・9〈未〉	136
福岡高判令元・6・12高検速報集令元・527	616
東京高判令元・6・25判タ1472・124	803
東京高判令元・7・9高検速報集令元・187	85, 98
東京高判令元・7・16判タ1477・132	801, 808
東京高判令元・7・18高検速報集令元・206	285
大阪高判令元・7・25判タ1475・84	763
東京高判令元・8・8高検速報集令元・226	227
東京高判令元・8・27〈未〉	137
東京高判令元・9・12高検速報集令元・258	432
東京高判令元・9・13東高刑時報70・1＝12・75	235
東京高判令元・9・13〈未〉	137

高松高判令元・10・31高検速報集令元・589	93, 569
大阪高判令元・11・26高検速報集令元・469	526
大阪高判令元・11・26判例秘書L0420547、LEX/DB25564979	610
東京高判令元・12・5判夕1477・110	68
東京高判令元・12・6判時2470・101	27
東京高判令2・1・10東高刑時報71・1・1・判夕1478・110	174
大阪高判令2・1・27判時2515・77	68, 70
福岡高判令2・2・5高検速報集令2・547	275
東京高判令2・2・26高検速報集令2・123	93
名古屋高判令2・3・12高検速報集令2・517	260
名古屋高判令2・3・16〈未〉	143
大阪高判令2・4・21高検速報集令2・397	799
大阪高判令2・6・17判時2559・60	326
東京高判令2・7・13判時2490・94	670
東京高判令2・9・29高検速報集令2・240	795
大阪高判令2・10・23高検速報集令2・466	635
名古屋高判令2・11・5高検速報集令2・522	476
東京高判令2・11・12東高刑時報71・1＝12・62	770
東京高判令2・11・17判例秘書L07520422、LEX/DB25569649	275
東京高判令2・11・25高検速報集令2・274	86, 99
東京高判令2・12・21高検速報集令2・281	248
東京高判令3・1・26高検速報集令3・119	519
名古屋高判令3・2・9 D1-Law28290881、LEX/DB25569130	425
大阪高判令3・3・3判夕1491・115	437
名古屋高判令3・3・25高検速報集令3・475	773
大阪高判令3・4・16〈未〉	637
東京高判令3・6・14高検速報集令3・173	287
東京高判令3・7・6高検速報集令3・204	433
大阪高判令3・7・14高検速報集令3・403	301
福岡高判令3・9・7刑弁114・99	637
東京高判令4・1・24東高刑時報73・1＝12・10	881
大阪高判令4・3・1高検速報集令4・318	509
大阪高判令4・4・26高検速報集令4・327	509
東京高判令4・6・7高検速報集令4・163	99
東京高判令4・6・22判時2568・83	902
福岡高判令4・7・21高検速報集令4・375	774
東京高判令4・10・5判時2571・101	810
名古屋高金沢支判令4・10・11LEX/DB25593752	137
高松高判令4・11・15高検速報集令4・397	772
東京高判令4・12・13高検速報集令4・306	87, 100, 569
名古屋高金沢支判令4・12・15判例秘書L07720519、LEX/DB25594327	141
東京高判令4・12・23LEX/DB25620892	142
東京高判令5・3・13判時2566・239	669
大阪高判令5・6・14〈未〉	810

大阪高判令 5・7・12 〈未〉	803
名古屋高金沢支判令 5・7・13判タ1528・142	284
東京高判令 5・12・1 判タ1527・117	520
大阪高判令 6・2・15 〈未〉	636, 639
東京高判令 6・2・26裁判所ウェブサイト	25
福岡高判令 6・3・12LEX/DB25598900	198
東京高判令 6・3・13 〈未〉	918
大阪高判令 6・12・18判例秘書L07920555、LEX/DB25621734	285
札幌高判令 7・2・13 〈未〉	570



## 【地方裁判所】

東京地判昭35・6・16判タ105・103	353
熊本地判昭35・7・1下刑集2・7＝8・1031	376
横浜地判昭37・5・30下刑集4・5＝6・499	9
東京地判昭40・9・30下刑集7・9・1828	9
大阪地判昭42・5・13判時487・70	362
岡山地判昭43・2・1判時509・76	651
名古屋地岡崎支判昭43・5・30下刑集10・5・580	8
静岡地判昭43・9・11判時2566・34	668
大阪地判昭43・10・30判タ230・309	922
福岡地久留米支判昭46・3・8判タ264・403	8
前橋地高崎支判昭46・9・17判時646・105	8
富山地高岡支判昭47・5・2判タ283・267	392
東京地判昭48・10・23判タ303・263	163
大阪地判昭49・10・30判時785・121	651
東京地判昭50・3・7判時777・21、判タ321・211	740
神戸地尼崎支判昭50・12・4麻薬・覚せい剤等刑事裁判例集436	619
松江地判昭51・11・2判時845・127	220
東京地判昭54・8・10判時943・122	362
東京地判昭55・2・29判タ426・209	127
大阪地判昭56・8・27判時1034・143	619
東京地八王子支判昭57・12・22判タ494・142	9
東京地判昭59・7・25判時1123・138	603
大阪地判昭60・6・3判タ571・88	361
釧路地判昭61・8・27判時1212・3	723
岐阜地判昭62・10・15判タ654・261	168
名古屋地判昭62・12・18判時1262・143	742
東京地判昭63・10・4判時1309・157	621
浦和地判平2・3・28判タ731・247	429
浦和地判平2・10・12判時1376・24、判タ743・69	739
横浜地川崎支判平3・3・6判時1388・157	609
東京地判平3・6・27判時1430・3、判タ763・74	740
浦和地判平3・12・10判タ778・99	603
浦和地判平4・1・14判タ778・99	603
東京地判平4・10・30判タ844・278	473
浦和地判平5・6・23判時1506・157	436
東京地判平5・12・7判タ849・246	740
名古屋地判平6・1・18判タ858・272	362
東京地判平6・3・15判時1498・130	740
東京地判平6・8・30判時1556・151	621
名古屋地判平7・6・6判時1541・144	591
千葉地判平7・7・26判時1566・149、判評472・57	402, 405, 408
大阪地判平8・4・11判タ971・281	617
大阪地判平8・9・10刑集51・5・447	60
東京地判平8・11・11判時1605・148	459

東京地八王子支判平9・7・3判時1618・152	613
大阪地判平11・2・17無罪事例集6・279	433
横浜地横須賀支判平11・3・30刑集58・5・459	383
名古屋地判平11・3・31判時1676・155	326
福岡地判平12・3・27判タ1152・301	740
大阪地判平12・10・19判時1744・152、重判平13・198	757
東京地判平13・3・22判タ1073・236	132
富山地判平13・4・19判タ1081・291	362
千葉地判平14・2・5判タ1105・284	2
福岡地小倉支判平14・6・3裁判所ウェブサイト	364
千葉地松戸支判平14・7・17〈未〉	138
神戸地判平14・7・25裁判所ウェブサイト	431
那覇地判平14・12・5無罪事例集9・95	433
東京地判平15・2・6判例秘書L05835609	435
神戸地姫路支判平15・2・19裁判所ウェブサイト	138
名古屋地豊橋支判平15・4・14判例秘書L05850443	609
横浜地横須賀支判平15・7・8裁判所ウェブサイト	138
神戸地判平16・3・16裁判所ウェブサイト	292
奈良地判平16・4・9判時1854・160	363
大阪地判平16・4・9判タ1153・296	743
東京地判平16・4・20判時1877・154	362
東京地判平16・12・20判時1913・168	579
東京地判平18・2・15裁判所ウェブサイト	307
静岡地判平18・8・31判タ1223・306	137
佐賀地判平19・5・8判タ1248・344	138
静岡地沼津支判平19・8・7刑集62・6・1866	56
広島地判平19・11・28LEX/DB28145044	701
神戸地判平19・12・17裁判所ウェブサイト	431
大阪地判平19・12・21刑集62・10・2840	653
大阪地判平20・6・16刑集63・2・8	57
松山地判平20・10・21裁判所ウェブサイト	428
松山地判平20・11・28裁判所ウェブサイト	137
大阪地判平21・3・9〈未〉	137
福岡地判平21・5・19判例秘書L06450338	743
千葉地判平21・11・12判例秘書L06450741	626
大阪地判平21・11・13LEX/DB25460261	596
岡山地判平21・12・4判例秘書L06450813	429
名古屋地判平22・1・7〈未〉	137
宇都宮地判平22・3・26判時2084・157	703
東京地判平22・6・29D1-Law28175100	579
松山地判平22・7・23判タ1388・375	804
東京地判平22・9・17判例秘書L06530528	381
仙台地判平22・10・18判例秘書L06550544	543
岐阜地判平23・1・28判例秘書L06650034、LEX/DB25481168	431
横浜地判平23・3・8判例秘書L06650177、LEX/DB25473547	804
東京地判平23・3・17LEX/DB25472438	307
岡山地判平23・3・17判例秘書L06650168	596

大阪地判平23・5・24裁判所ウェブサイト	197
東京地判平23・9・28判例秘書L06630435	432
千葉地判平23・10・14判例秘書L06650671	626
千葉地判平23・11・4判例秘書L06650632	596
名古屋地岡崎支判平23・11・14判例秘書L06650647	432
大阪地判平24・3・16判タ1404・352	359
長野地判平24・3・27判例秘書L06750208、LEX/DB25480894	201
千葉地判平24・3・27判例秘書L06750164	307
東京地判平24・4・26判タ1386・376	604, 608
東京地判平24・6・25判タ1384・363	467
東京地判平24・8・17判例秘書L06730827	755
東京地判平24・9・26判例秘書L06220950	576
横浜地判平24・10・19裁判所ウェブサイト	576
京都地判平24・12・6判例秘書L06750611	158
東京地判平25・3・1判例秘書L06830089	119
東京地判平25・5・9刑集70・5・210	416
大分地判平25・6・4裁判所ウェブサイト	292
名古屋地判平25・6・10判時2198・142	153
大阪地判平25・6・19判例秘書L06850404	756
京都地判平26・3・18裁判所ウェブサイト	576
鹿児島地判平26・3・27裁判所ウェブサイト	265
静岡地決平26・3・27判時2235・113	668
徳島地判平26・6・27LEX/DB25506326	919
東京地判平26・9・4判例秘書L06930456、LEX/DB25504929	522
東京地判平26・9・5判例秘書L06930457	605
福島地判平26・9・30判時2240・119	904
名古屋地判平27・3・5判時2366・80	302
東京地判平27・3・23判例秘書L07030160、LEX/DB25506206	158
京都地判平27・3・27判例秘書L07050158	160
東京地判平27・3・30〈未〉	142
東京地判平27・5・12判タ1430・247	99
さいたま地判平27・5・19判例秘書L07050656	210
札幌地判平27・7・9裁判所ウェブサイト	155
千葉地判平27・7・9裁判所ウェブサイト	830
金沢地判平27・8・7判例秘書L07050437、LEX/DB25542674	518
千葉地判平27・8・10〈未〉	137
奈良地判平27・8・26LEX/DB25542064	611
東京地判平27・9・30判例秘書L07031431、LEX/DB25542999	93
東京地判平27・12・22判例秘書L07031465	613
京都地判平28・1・12判例秘書L07150016	434
静岡地判平28・1・14判例秘書L07150047	366
東京地判平28・1・15判タ1443・248	160
千葉地判平28・2・10判例秘書L07150071	591
高松地判平28・3・4判例秘書L07150104	805
東京地判平28・3・11判タ1437・246	21
東京地立川支判平28・3・16判時2321・133	603
宇都宮地判平28・4・8判時2313・126	825

名古屋地判平28・4・25LEX/DB25542949	301
大阪地岸和田支判平28・4・25判例秘書L07150320、LEX/DB25543001	93, 94
横浜地判平28・6・9判時2375=2376・226	144
神戸地判平28・7・4〈未〉	142
鳥取地判平28・7・20判時2370・126	853
福岡地小倉支判平28・8・2 LEX/DB25543656	338
大阪地判平28・11・2判例秘書L07150976、LEX/DB25592512	155
千葉地判平28・11・7判タ1436・243	142
福井地判平28・11・9〈未〉	144
福岡地小倉支判平28・11・10〈未〉	142
大阪地判平28・11・15判例秘書L07150975	576
静岡地沼津支判平28・11・24判時2345・120	431
静岡地浜松支判平28・12・9判例秘書L0715019	213
広島地判平29・2・9裁判所ウェブサイト	155
大阪地判平29・2・13LEX/DB25545018	613
東京地判平29・2・17LEX/DB25545819	923
福岡地小倉支判平29・2・24判タ1455・100	454
大阪地判平29・3・13判例秘書L07250456、LEX/DB25545237	157
さいたま地判平29・3・21LEX/DB25546816	142
大阪地判平29・3・24判時2364・111	197
大阪地判平29・3・24判時2364・126	804
鹿児島地決平29・6・28判時2343・23	882
水戸地判平29・7・4 LEX/DB25546463	145
神戸地判平29・9・22判例秘書L07250775、LEX/DB25547424	519
静岡地富士支判平29・10・16LEX/DB25548931	520
東京地判平29・10・17裁判所ウェブサイト	144
大阪地判平29・12・15判例秘書L07251165	142
静岡地浜松地判平29・12・22刑集73・4・102	483
横浜地小田原支判平29・12・26判例秘書L07251012	143
京都地判平29・12・27裁判所ウェブサイト	136
大阪地堺支判平30・1・11判例秘書L07350030、LEX/DB25549656	748
名古屋地判平30・1・31裁判所ウェブサイト	748
東京地判平30・2・7〈未〉	142
水戸地判平30・3・2〈未〉	145
宇都宮地判平30・3・2〈未〉	145
横浜地判平30・6・7判例秘書L07351252	136
広島地判平30・6・14裁判所ウェブサイト	801
福島地郡山支判平30・7・12〈未〉	136
神戸地判平30・7・18判例秘書L07350789、LEX/DB25561367	519
札幌地判平30・11・27裁判所ウェブサイト	144
横浜地判平30・12・17判例秘書L07351364	137
東京地判平31・2・20判時2426・105	670
津地判平31・2・27判例秘書L07450213	432
名古屋地岡崎支判平31・3・26判時2437・100	260
仙台地判令元・5・30判例秘書L07450666、LEX/DB25563536	285
さいたま地判令元・6・24判例秘書L07450648、LEX/DB25563747	431
名古屋地判令元・7・23裁判所ウェブサイト	548

盛岡地判令元・8・19判例秘書L07450955	144
名古屋地判令元・10・18〈未〉	142
名古屋地判令元・10・28〈未〉	143
熊本地判令元・12・20判例秘書L07451452	137
宮崎地判令2・2・3判例秘書L07550184、LEX/DB25565043	285
東京地判令2・3・17刑集75・7・1016	808
東京地判令2・3・17刑集75・7・1024	808
東京地判令2・3・18判時2492・82	805
名古屋地判令2・3・19判時2529・117	477
東京地判令2・4・3刑集75・8・1108	569, 87
大阪地判令2・5・8判例秘書L07550581、LEX/DB25566397	433
名古屋地判令2・6・19〈未〉	143
名古屋地判令2・11・20判例秘書L07551062	141
鳥取地判令2・11・30判時2505・88	431, 863
津地判令2・12・4判例秘書L07551146、LEX/DB25568148	285
神戸地判令2・12・8判例秘書L07551151	99
千葉地判令2・12・16判時2561=2562・178	212
名古屋地判令3・1・7〈未〉	143
仙台地判令3・1・15判例秘書L07650078、LEX/DB25569459	804
岐阜地判令3・3・5判例秘書L07650309、LEX/DB25569350	209
東京地判令3・3・17判時2568・90	902
名古屋地判令3・3・19裁判所ウェブサイト	611
横浜地判令3・3・23LEX/DB25592509	142
甲府地判令3・4・27D1-Law28291995	137
札幌地判令3・5・20判例秘書L07650589	723
福岡地判令3・5・24D1-Law28292154	136
高松地判令3・6・8判例秘書L07650626	581
松山地判令3・8・3判例秘書L07650969	212
熊本地判令3・8・11判例秘書L07650968	285
福岡地判令3・8・24判時2517・84	198
福岡地判令3・9・15判例秘書L07650985	286
松山地判令3・9・21D1-Law28293223	267
大阪地判令3・9・29判例秘書L07651396	209
東京地判令3・10・13判例秘書L07631891	212
さいたま地判令3・11・19判例秘書L07651425	212, 213
大津地判令3・12・21判時2555・58	157
横浜地判令4・1・13判例秘書L07750076	547
金沢地判令4・3・7判例秘書L07750368	144
東京地判令4・3・22判例秘書L07730649、LEX/DB25593163	141
名古屋地判令4・5・17D1-Law28301509、LEX/DB25592701	426
横浜地判令4・6・6判例秘書L07750614、LEX/DB25592990	25
千葉地判令4・6・27〈未〉	142
山口地判令4・10・4D1-Law28310028	267
前橋地判令4・11・30判例秘書L07751394	144
大津地判令4・12・6〈未〉	137
東京地判令5・2・3判例秘書L07830047	582
千葉地判令5・2・8判例秘書L07850199	596

千葉地判令 5・3・10判例秘書L07850362、LEX/DB25594993	726
熊本地判令 5・3・16判例秘書L07850329	285
東京地判令 5・3・23〈未〉	916
神戸地判令 5・4・18判例秘書L07850481、LEX/DB25595239	807
金沢地判令 5・6・21判例秘書L07850792、LEX/DB25595762	141
東京地判令 5・6・28判例秘書L07830223	213
静岡地判令 5・6・30D1-Law28312485	582
名古屋地判令 5・7・12判例秘書L07850789	141
水戸地判令 5・8・1判例秘書L07850857	748
那覇地判令 5・8・9 D1-Law28312822	433
東京地判令 5・10・3 裁判所ウェブサイト	608
長野地判令 5・11・10 D1-Law28320006	509
大阪地判令 5・11・20〈未〉	636
福島地判令 5・12・12判例秘書L07851311	301
大阪地判令 6・1・16LEX/DB25597991	661
大阪地判令 6・1・19〈未〉	636
札幌地判令 6・1・22〈未〉	569
水戸地判令 6・1・26LEX/DB25598000	145
旭川地判令 6・2・5判例秘書L07950087	280
水戸地判令 6・2・22判例秘書L07950082	141
高知地判令 6・2・28D1-Law28321275、LEX/DB25622074	433
那覇地沖縄支判令 6・3・8判例秘書L07950159	288
神戸地判令 6・3・14D1-Law28321487	144
大阪地判令 6・3・15LEX/DB25599111	661
神戸地判令 6・5・30判例秘書L07950307	661
福岡地判令 6・8・5 裁判所ウェブサイト	211
静岡地判令 6・9・26裁判所ウェブサイト	669

## 監修者・編集者・執筆者紹介

(令和7年12月1日現在)

### 監修者

植村 立郎 元東京高等裁判所判事  
湯島綜合法律事務所弁護士

### 編集者

遠藤 邦彦 高松高等裁判所長官  
安東 章 千葉地方裁判所長

### 執筆者

青 沼 潔	札幌高等裁判所判事	大 西 直 樹	神戸地方裁判所判事
浅 香 竜 太	千葉地方裁判所判事	大 野 洋	東京高等裁判所判事
足 立 勉	横浜地方裁判所判事	加 藤 陽	大阪地方裁判所判事
安 東 章	千葉地方裁判所長	上 岡 哲 生	東京高等裁判所判事
井下田英樹	さいたま地方裁判所判事	辛 島 明	大阪地方裁判所判事
板 津 正 道	東京地方裁判所判事	川 田 宏 一	甲府地方・家庭裁判所長
市 原 志 都	名古屋高等裁判所事務局長・判事	河 畑 勇	東京地方裁判所立川支部判事
入 江 淳 子	東京地方検察庁検事	河 本 雅 也	水戸地方裁判所長
岩 崎 邦 生	大阪高等裁判所判事	國 井 恒 志	東京高等裁判所判事
薄井真由子	静岡地方裁判所沼津支部判事	熊 代 雅 音	司法研修所教官・判事
江 口 和 伸	東京地方裁判所判事	小 池 健 治	さいたま地方裁判所判事
蛭 原 意	名古屋地方裁判所判事	後 藤 有 己	広島地方裁判所判事
江 見 健 一	さいたま地方裁判所判事	駒 田 秀 和	東京地方裁判所判事
遠 藤 邦 彦	高松高等裁判所長官	近 道 暁 郎	大阪地方裁判所判事

近 藤 和 久	東京地方裁判所判事	福 島 直 之	東京地方裁判所判事
佐 伯 恒 治	さいたま地方裁判所判事	福 家 康 史	東京地方裁判所判事
坂 口 裕 俊	大阪高等裁判所判事	細 谷 泰 暢	東京地方裁判所判事
佐々木一夫	和歌山地方・家庭裁判所長	増 田 啓 祐	名古屋高等裁判所金沢支部判事
品川しのぶ	東京高等裁判所判事	松 田 道 別	神戸地方裁判所判事
島 戸 純	東京地方裁判所判事	三 村 三 緒	大阪地方裁判所判事
下 津 健 司	高松地方裁判所長	宮 田 祥 次	東京地方裁判所判事
染 谷 武 宣	東京地方裁判所判事	宮 村 啓 太	宮村・井桁法律事務所弁護士
高 橋 康 明	横浜地方裁判所判事	向井香津子	東京地方裁判所判事
高 森 宣 裕	東京地方裁判所判事	村 越 一 浩	大阪高等裁判所判事
戸 茆 左 近	東京地方裁判所判事	守 下 実	仙台地方裁判所長
友 重 雅 裕	東京地方裁判所判事	吉 井 隆 平	東京高等裁判所判事
中 川 綾 子	大阪高等裁判所判事	渡 部 市 郎	大阪地方裁判所判事
中 島 経 太	東京地方裁判所立川支部判事		
長 瀬 敬 昭	札幌家庭裁判所長		
中 村 光 一	東京地方裁判所判事		
行 方 美 和	横浜地方裁判所川崎支部判事		
西 野 吾 一	東京家庭裁判所判事		
楡 井 英 夫	司法研修所教官・判事		
丹 羽 敏 彦	横浜地方裁判所判事		
馬 場 嘉 郎	神戸地方裁判所姫路支部判事		
平 出 喜 一	東京地方裁判所判事		
平 城 文 啓	東京地方裁判所判事		
平 塚 浩 司	福岡高等裁判所判事		



★本書の無断複製(コピー)は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。  
また、代行業者等に依頼してスキャンやデジタルデータ化を行うことは、たとえ個人や家庭内の利用を目的とする場合であっても、著作権法違反となります。

## 刑事事実認定重要判決50選〔第4版〕

令和8年2月10日 第1刷発行

監修者 植村立郎

編集者 遠藤邦彦

安東章

発行者 橘茂雄

発行所 立花書房

東京都千代田区神田小川町3-28-2

電話(代表) 03(3291)1561

FAX 03(3233)2871

<https://tachibanashobo.co.jp>

平成17年11月 初版発行

平成25年10月 第2版発行

平成19年4月 補訂版発行

令和2年3月 第3版発行

© 2026 UEMURA, ENDO, ANDO 印刷／加藤文明社 製本／東京美術紙工

乱丁・落丁の際は当社でお取り替えいたします。